THE PATRIOTIC LADIES HOME FORTNIGHTLY.　NO. 204.

愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（五日廿日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹三八二番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

明治四十三年七月五日發行　July. 5th. 1910.

●家庭の改善

精華學校長　寺田勇吉

今更改めて云ふまでもなく、日露戰爭以後、我々日本人の責任は一層重大になつたのである。我々は此の戰爭の結果として世界の一等國民と云ふ資格を得た。なる程露國に打ち勝つて、俄に一等國と云ふ名稱を冠せられるの名譽を得た。得たには違はないが、悲哉、戰爭以外の事に就ては未だ歐米の一等國と肩を比する事が出來ないのである。乃ち我々の體格と云ひ、品性と云ひ、氣力と云ひ、就中富の程度に於ては到底英、佛、獨等の國國に及ばぬと云ふ事は明白である。

今や優勝劣敗の此世の中に於て、吾人は須臾も油斷をする事は出來ない。尚益益大に發憤する處がなくてはならぬ。

之れに就ては種々の方法があるのであらうが、吾輩の考ふる處に由れば、先づ第一に我國の家庭を改良しなければならぬ。若し家庭にして充分なる改良が出來なければ、結局我國民の發達は出來ないと云つても宜いのであらう。何となれば、總ての社會のあらゆる罪惡の基く處は家庭である。家庭にして改良せられて兒童の教育にして怠られなかつたならば始めて學校教育も功を奏する。如何に學校の教師が教育に骨を折つても、今日の如く家庭が不備であつては、學校教育が功を奏することは到底困難である。學校教育が其功を奏しなかつたならば、完全なる國民を見る事は遂に不可能であらう。

元來男子は現在を支配し、婦人は未來を支配する。從つて今日の婦人の責任は極めて重大なるものである。家庭にはあらゆる人道の要素が備はつて居る。乃ち實地に於ける親子間の道德、夫婦間の道德、兄弟姉妹間の道德、親族間の道德、傭人と被傭人間の道德、其他あらゆる社會的の道德が家庭には備はつて居る。我輩が國民改善の基礎は家庭にありと云ふ所以である。

家庭の改良は眞に目下の急務である。若し第一に家庭の改善に力を盡さずに、猥りに社會の改良を欲するも不可能なりと自分は信ずるのである。而して此家庭に在つて之れを善くすると惡くするとは一に母の手にあるのである。之れが爲めに先づ第一に良き母を造らねばならぬ。然らば良き母とは如何なる母かと云ふに強健なる身體と健實なる精神とを具備せる母を云ふのである。かゝる母なればこそ始めて健全なる國民を養成する事が出來得るのであらう。元來、家庭の善惡は子孫の盛衰は勿論國家の消長に關する。乃ち家庭の善惡は個人と國家とに大なる關係を有するのである。

宮島の景

我國民の惡德の改良は今日の青年男子を目的としても、到底其の目的を達する事を得ぬ、故に自分は先づ今日の兒童に良模範を示して幼時より第一に良習慣を付けなければならぬと思ふ。之れが爲めには學校は勿論有力なれど、前述の如く學校に於てのみ訓練しやうと思つても家庭が其の氣にならなければ結局駄目である。畢竟幼時の教育乃ち根本教育の改良は家庭と學校との兩方に存するのである。

吾輩の言を待たず、教育は既に母の胎内に始まつて、出生後之れを怠らず、智育は別として體力と品性とは小學校卒業の頃までに完成すべきものである。中學又は高等女學校に入學後之れを改めるが如きは、爾來の經驗によれば殆んど不可能である。自分は中學生も高等女學校生徒も監理した事が在つて、種々改良に就て骨を折つて見たが、惡しき家庭に於て養成せられ且不完全極まる小學校を卒業したる子弟の十中八九迄は其の改善の見込がないのである。夫故吾輩は愛國婦人會の隣地に精華學校を設立して、幼稚園から生徒を入學せしめ、今日では小學六年生迄の設がある、と云ふ事にした。精華學校には惡い家庭の兒童は一切入學せしめない。入學を申込んで來た時には先づ其の家庭が果して好きか惡きか、殊に母は如何なる人であるかと云ふ、先づ母の人となりを充分に取調べて、然る後始めて其の子供に入學を許すの方針を執つて居る。惡しき家庭の兒童であれば、入學せしめていくら骨を折つても自分の理想的の教育が出來ないからである。

そこで、愛國婦人會の如き有力なる婦人團體に於ては、亦此の家庭の改善と云ふことに充分に努力して貰ひたいものと思ふ。果して家庭が十分に改良せらたならば、學校教育も從つて其功を奏し、遂には社會の改善も出來得るであらうと自分は堅く信じて居るのである。

本號主要目次

▲家庭の改善……精華學校長　寺田勇吉
▲閑院宮二女王殿下の御作文
▲岡部法相談片
▲避暑に就ての談叢……岡部子爵夫人、阿部伯爵夫人、丹羽前子爵夫人、波多野男爵夫人、福島中將夫人、尾崎男爵夫人、鳩山博士夫人、弘田博士夫人
▲臆面なく交際せよ……男爵　石黑忠悳
▲一、英國婦人の日本婦人觀
▲肺病、チブスの増加は文明國の耻辱……内務省衛生局長　窪田靜太郎
▲山か海か……醫學博士　弘田長
▲箏歌評釋（九）……京都大學講師　池邊義象
▲外人の好める京都……鳥居　喜賓會幹事
▲史傳瀬川之子（完）……ふく子
▲絹布の洗濯法（一）……高山繁
▲水盤界
▲流行の夏衣
▲講談勝田新左衛門（第二席の五）……大島光利
▲其他俳句、こども、日誌、雜錄等

●本號（附錄共）十六ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

涼風

一、避暑地として山を御好み遊ばすか海を御好み遊ばすか？
二、一番御氣に召したる避暑地は？
三、避暑さきの御樂みは？
四、本年の御避暑は？
●大略左記四つの事柄に就て奥樣方の御説を向ひに參りまして幸に得ました御答へを左に掲載致します若し萬一にも文字に誤謬がありましたらば其責は一に記者に在ります

子爵夫人　岡部坻子

一、山にても海濱にても宜ろし、時に從ひて場所を選ぶ。
二、岩淵の別莊、
三、散歩。陶器を燒かしめ又は自分手を下して燒く事、其他時に應じての慰あり
四、未だ確定といふにあらねど多分は岩淵なるべし。

伯爵夫人　阿部篤子

一、自分の好みは山にあるが、子供が皆海濱を好むので。
二、日光及鹽原。
三、子供を集めて一家團欒の樂み、又は散歩。
四、日光に參る豫定。

前子爵夫人　丹羽花子

一、若い時分には山が好きでしたが、主人は海の方が好きでしたものですから、よく海濱に連れて行かれまして、今では海濱が宜いやうになりました。一つは身體のせいでもありませう。兎角婦人は身體の工合に支配されますものですから。
二、何處と申して見聞の狹い不束な私では……(と御謙遜)
三、別にこれと申上げる程の事もありません。友達の所や親族の宅等を訪問するのが好きです。馬入川で鮎を取るのも大變に面白いので、本年も行きたいと思ひます。
四、片瀬に小さな別邸を持つて居りますので、毎年其處へ參ります。本年も片瀬まで踏み出して、夫れから所々へ參りたいと思つて居ります。

男爵夫人　波多野爲子

一、海。
▲宅では主人が避暑を好みませず、旅行は致しますが、他所へ泊るのは大嫌いなものですから、それにお役に付いて居ました頃は暑中休暇も致さない位で御座いましたから、いつも避暑に行つた事はありませんでした。始めて避暑に行きましたのが、三十九年でしたか、主人がお役をやめました歳で、主人は山が好きですから、箱根あたりならば伴れて行かうと言つて居りましたが、子供には海濱が宜でしやうと思ひまして、伊香保の温泉に參つて一ケ月許り滯在しましたのが、私の生れて始めての避暑で御座います。其後に一度小田原に行つた事がありますが

墨堤竹屋の渡

私にはどうしても海濱が宜しいやうに思はれます。……それに宅の座敷は大變にお涼しい者ですから、生中鎌倉や逗子あたりに行つて、二間三間位借りまして却つて暑苦しい思ひ致すよりも、と主人も申しますし。今年は子供を避暑致させるつもりで、只今場所の選定中で、主人は何處かに一軒家を借りたらと申しますけれども、左樣しますと荷物の持ち運びなどが大變面倒で御座いますから……。

男爵中將夫人　福島貞子

一、海。
▲無風流と申しますか、沒趣味と申すものですか、私は山よりも海よりも、自分の宅が一番好きでして、暑かれ寒かれ轉地など致した事は只の一度も有りません。病氣などの時分に醫師から勸められて轉地致しますが、主人も避暑などは好みませず、どちらかと言へば主人は山が好きと申しますが、私は海濱が晴々致して宜さそうに思ひます。なにしろ年中宅に居まして仕事でも致して居りますのが、私の性分に合つて居りましやう。子息が『母樣には長持に一杯襤褸を詰めて持つて行つて上げて、其中に座らせて置くと嬉んで御座る』と申します、襤褸をいぢつて居るのが私の一番の樂みだと子息共が思つて居ります。

男爵夫人　尾崎八重子

一、私は腦の工合が什麼も惡う御座いますから、醫師から山の方が宜ろしいと勸められて、輕井澤の市長(尾崎東京市長)の別邸の近所に行つて見ましたが、輕井澤も餘り避暑客が澤山で雜沓致しますので。
二、何と申しても自分の宅が一番で御座います。
三、別に之れと申して……まづ活花でも致して居りますのが。
四、主人は南米に參ることになつて居りますが、私等は鎌倉の材木座の別莊に參ります。

博士夫人　鳩山春子

一、男の子には多少游泳を心得さして置く必要があると思ひまして、子供等が幼ない頃には、大磯、鎌倉、逗子、三崎などの海濱を選びましたが、次第に成長致しまして最早其必要もなく、殊にあんな場所で他人さまと襖一重越しの避暑などは子供の爲めにも却つて宜しくないと存じまして、北海道に耕作地のあるを幸、二三年前彼の地に別邸を新築し、毎年其所に參る事に致して居ります。人間は其の境遇に甘んずると云ふことが、其人の幸福と存じます。私は海岸に參つた時は海岸は實に宜い所だと思ひますし、山では亦山は宜い所だと、努めて其心になりますから、山でも海濱でもいづれでも好ましく存じます。
二、前に申上ました通り、北海道が一番宜ろしい地だと思ひます。
三、自分の地所で小作人等が平和な顏をして耕作して呉れました穀物、野菜などを頂くのが何よりの樂みと存じます。
四、やはり北海道に參る豫定に致して居ります。

日光中禪寺湖

博士夫人　弘田増子

一、私宅は、主人が多忙で在りますから、一ケ月とか二ケ月とか、永い間の避暑は出來ませんので御座いますが、十日なり二週間なりの避暑は暇を見まして致すことにいたして居ります。世間では避暑といふと海濱に行く事として居られる人もありますが、主人は海濱よりも山が宜いと申します。尤も男の子などには游泳の心得も多少在つて欲しいので、海近くに伴れて參る必要もありませうし、又各人の身體の工合に因りまして所を定める事も怠れてならぬことでありませうが、主人の見ました所では一般に山が宜しいと申します。
二、主人は毎年伊香保に參りますが、避暑地としては、伊香保が一番適當して居ると申して居ります。伊香保の温泉の効能は早い、參つた歳には風邪に罹らないなど、皆樣も仰になります。
三、人々によりましては音樂をおやりなさるとか、何の稽古を遊ばすとかいふ御慰みもありませうが、私には別に之れと申上ぐるやうの事は……。
四、近來避暑熱が盛んで、少々便利の宜い場所は田舍の町と云つたやうに成りまして、無暗な所へ參りましては、却つて暑苦しい思ひを致さねばなりませぬ。主人はなる可く人の澤山に行かない、都離れの致した、眞實に田舍らしい避暑地に行きたいと云ひまして、昨年は甲斐の國の方を調べましたが、一向面白くありませんでしたそうで、本年は木曾路の方でも調べて見やうと、只今研究致して居ります。いづれ本年も十日や二週間位は何處にか參る事で御座いませう。

みちのへの清水ながろゝ柳かけ
しはしとてこそたちとまりけれ　(西行)

いさや子等ゆきてすゝまん大伴の
みつの濱風まつにふくなり　(長嘯)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二女王殿下の御作文

此に掲ぐるは跡見女學校生徒が先頃校長教授等に引率され江の島方面に修學旅行を試みたる折、本會總裁閑院宮妃殿下の、第一王女恭子殿下（御齡十五）第二王女茂子殿下（御齡十四）にも亦生徒の御資格にて御同行遊ばされたるが、殿下御歸京の後師の君に差出し給ひたる紀行文の由にて、兩殿下日頃の御心懸の程を推し奉るべし。

▲磯なれ松　恭子女王殿下

まちにまちたる遠足の日となりましたどうも、お天氣が心配でございますから、起き出て直ぐ、外を見ますと曇つてをります。心配ながらも、今日一日は無事であるやうにと祈つて居りました。新橋から汽車に乘り藤澤で電車に乘換へて江の島へつきました。私共の願は空たのめで、さきほどから降つて居ります。旅館へついたなり、外へは一歩もでられません、お晝のお辨當を頂いて、鬼ごつこをして遊びました。今度は二階の欄干からながめますと、庭つゞきの海になつてゐます。しづかな波の上が、雨にぼつと霞んで、はつきりせないところがよろしうございます。磯なれ松の枝が波に浸る樣につき出たやさしいさましいところは、畫にもして見たい樣に、ごく奥ゆかしうございます。常に東京に居る私共には江の島の雨の景色は、こんな時でなければ見られないのでございます。今日はかへつて仕合せかもしれないと思ひました。

▲優しきお姉様　茂子女王殿下

掲示が出ましてから、お姉様と毎日お話をして待つてゐました遠足も、今日となりました。午前七時二十分新橋發の汽車に乘り、江の島へ着きましたのは十時頃でございました。雨がふり出してまゐりましたから、旅館に着いたなり、一歩も外へは出られません。仕方がございませんから皆様と家の内で遊んで居りますと、やがてお晝時になりましたから、お辨當をすませて、又た遊んで居りますと、どなたか江の島名產の貝細工をもとめましたと、おみせ下さいました。美しい簪や、玩具など色々ございました、これは妹これは三つになる弟にと、いつて居られましたので私は何とお優しいお姉様よ、私のお姉様もやつぱりこんなにおやさしくして下さるのですねと、お姉様に申上げますと、お姉様がお笑ひ遊ばしました。

跡見女學校に學ばせらるゝ

閑院宮三姫宮殿下

跡見女學校長　跡見花蹊

閑院宮様から、現今當校に御通學なさいまするのは、恭子女王殿下、茂子女王殿下、季子女王殿下の三殿下で御座いますが、恭子殿下と茂子殿下とは本年四月小學校の課程を最優等で御卒業遊ばしまして、高等女學校へ御進級遊ばし、御教室も夫れまでは別室に致しましたが、只今では外の生徒達と同教室内で御教授申し上げて居ります。放課後十分の休憩時間には、矢張り皆の生徒と一所に御遊戲など遊ばします。季子殿下は尋常科六學年であらせられまして、伊國大使秋月左都夫氏の息女菊子さん帝國大學教授工學博士男爵斯波忠三郎氏の息女輝子さんなどの御學友と別教室で御教授致して居ります。

御登校遊ばしますには、電車に御召しの折も御座いましたが、御途中で往々貴ひ宮様方とは存ぜず、過つて不敬を致すやうな虞が在りますのと、傳染病が流行致す時節などは誠に御危險でありますので、現今では御馬車にお召し遊ばされます。外の生徒でありますると、稀には遲刻などの事もありますが、風の吹く日も雨の降りまする日も、始業前十五分頃には乾度成らせられまして、一度もお遲れ遊ばした事は御座いません。其他時間を御守り遊ばす事の正しいのには、一同感心致して居ります。

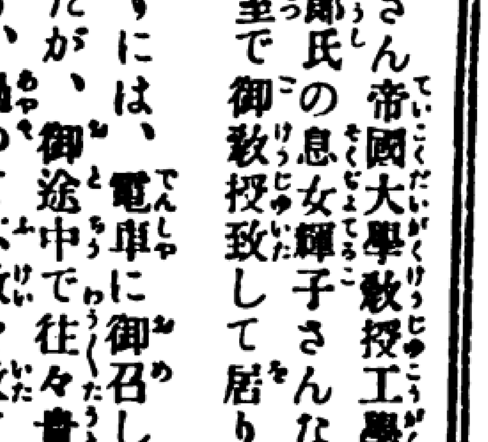
三姫宮殿下ともに御父母兩殿下の御賢明なる御氣性を御享けつぎ遊ばして、誠に御多技にわたらせられまする上に、御家庭におかせられましては、妃殿下が親しく御復習等を御覽遊ばす程で御座いますから、御三方とも御揃ひで學業の御成績が大變に御優れ遊ばしまして、爲事が他の生徒の模範とお成り遊ばすのであります、中にも書畵の道には秀で、御丹能で、又小かな細工物の如きにも御嗜好深くあらせられます。

野や山の景色などにも亦趣味を御持ち遊ばしまして、先月當校から江の島方面に遠足致した折には、三里位の道程を御徒歩遊ばしましたが、三殿下とも些少の御疲勞も遊ばされず、却つて御隨行の婦人等が弱つて居りますのを、御勵まし被下れた程で御座いました。

御服裝の如きは、母上殿下が極めて奢侈の風を御厭ひ遊ばしまして、平素は、糸織や御召を御着け遊ばさるる由に承りまするが、姫宮殿下には綿銘仙を用ひさせられ、御中餐の如きも極簡單に御濟しになります。

下方を憐れに思召す御仁慈の御美德も仲々に深くあらせられます。曾つて、當校の教師の一人が、或る寒い日に御殿に上りまして、御要向を務めまして後御暇を願ひますると、殿下には、寒いから今暫時暖まつて歸つたらとの難有い仰でありますから、仰に從つて暖まつて居りますると、三殿下には室外にお出ましになりましたが、久しく御見え遊ばしませぬので、如何致したものかと惑つて居りますると、御三方とも、寒い室外に御控へ遊ばしましたと云ふことで、教師は今更ながら姫宮殿下の御仁慈に感泣し奉りまして引き退りましたそうで御座います。

わたつみの
涼ふく風を
おはしまに



まちとる宿は
夏なかりけり
千蔭

●岡部法相談片

去月下旬、本會會長岡部子爵夫人を櫻田御門外に巍乎たる司法大臣官邸に御訪問致しました、應接間の一室で夫人の御說を伺つて居ました折りから、子爵がお出ましに成りまして、種々御話を伺ふ光榮を得ました、其談話中には左の一片がありました。

▲九州地方の歡迎　去月九州巡視中は、自分が愛國婦人會の顧問であるが爲めに、會員諸氏の懇切なる送迎に預かつた。特に宮崎縣下の都城に到着した折には、生憎の雨天であつたにも關せず、紋附着の婦人達が、傘までも閉めて自分を歡迎せられた。感謝する次第である。

▲故奥村刀自展墓　肥前の唐津では十九日の朝、出發前の寸暇を得て、故奥村五百子刀自の展墓を爲したが、刀自が生前愛國婦人會の爲めに致されたる熱誠を追想して、轉た懷舊の情に堪へなかつた。

●日本の娘は贅澤すぎる

女の子の十八九歲迄は、教育を受ける肝腎な時期ですから、派手な社交界などに連れて出る事は如何かと思ひます。又日本の少い娘さんかたは、縮緬の花やかな、大變な衣服を着けて居られますが、お召物が餘り贅澤ではありますまいか。お嫁入前にも相當に飾る必要はありませうが、私の生國……英國では、寧ろ嫁入り後に着飾る風になつて居ります。私は此の方が好いと信じます。其れから、日本の娘さん方に第一に望みたいのは、妾があつたり、いかゞはしい女抔に戯れるやうな方の所へは、先方から何程熱望しても固く拒絶されたい事です。娘さんの方に其れ丈けの氣概さへあれば、男子側の品性は自然に向上して男も女も幸福になれませうに、男振りや財產ばかりに目がけて、大切な品性の事は第二第三に思つて居られるのは眞に殘念に思ひます。（一英婦人の談片）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

談叢

臆面なく交際せよ

男爵　石黒忠悳

▲獨逸婦人の美德
▲母と子
▲私の母

（愛國婦人會韓國釜山委員部總會に於ける演說）

本日此席上で何か談話をして呉れとの御依頼でありましたが別に御話申すやうな事もありませんので御辭退致したいと思ひましたが今日が滿韓視察中最後の御話でもありますから何にか心に浮んだ事柄に就て御話を致しましやう。

私が此の席上で第一に感じましたのは韓國婦人が出席されて居る事であります片言交りにても私が韓語に依つて話が出來ますれば、如何に喜ばしき事であらうと思ひますが、殘念なる哉、私に韓語が話せませんので、後で韓語の話せる人に通譯を願つて韓婦人へも大略の御話を致す筈であります。

さて、私は明治二十年頃に歐洲へ渡つて徵兵の件を調査研究致した事があります。其の折獨乙へ往つて彼の國の徵兵に就て調査しました處が、獨乙婦人の軍人と云ふ事に熱心なるには驚きました。我國でも日淸、日露の兩戰役當時には獨乙で見たのと同じやうに、婦人方一般に我軍人の爲めに同情し、盡力せられた事は實に多大なるものでありましたが、獨乙では子供が兵に徵されて入營する時には其地方の貴婦人までが停車場などまで送られて花輪などを呈じて首途を祝されます。之れは若き男が吾等に代りて國家の爲めに心血を捧ぐるのである、と云ふ彼國婦人の思想から生じた同情であります。

それから一般の婦人に對して希望致しますのは交際の事でありますが、世界が文明に進むに隨つて婦人の交際が廣くなります。當地も米國の堀割事業が終了し、安奉線が改通した曉には東西の交通が頻繁となり、從て當地の婦人も萬國人と交際せねばならぬやうになりましやう。ところで、婦人の交際に尤も必要なのは臆面なく交際すると云ふ事であり、臆面なく交際するには信念が餘程鞏固でなければなりませぬ。面恥かしいと云ふやうな觀念を一切腦中から取り除けて、彼我變りないと云ふ信念で交際せねばなりませぬ。

又婦人に第一必要であるのは申すまでもなく淑德の二文字であります。此淑德といふ觀念は西洋人より日本人の方が勝つて居ります。歐米諸國の婦人、多くは交際場裡に立つにダイヤモンド又は眞珠などの高價な品を以て競つて身の裝飾を致しますが、獨乙婦人は左樣でなく、其の身の飾りとする處は博愛慈惠の心であります。我が帝國の婦人も亦其の身邊の裝飾とするにダイヤモンドや眞珠のみを望ます、金錢もて購ふべからざる慈惠と云ふ德を以て飾となし、之れに加ふるに臆面と云ふことを腦中から取り除けて交際社會に出られん事を希望します。

尙又、我帝國の品位を高むると否とは母の賢、不賢によると云つても宜しい位で、母の賢、不賢が其の子に及ぼす感化は實に大なるものであります。私は每年とは云へませぬが差支が出來ぬ限りは每年十一月三日、即ち天長節の夜に、東京神田の原胤照氏のところで出獄者を集めて蕎麥會を催します。其會に行つて親しく出獄者に就て惡心を起した原因を質して見ると、多數は母の惡德より生じて居ります。

抑も學校敎育は學科の敎育を爲す所で精神の敎育は家庭に於て施さねばなりませぬ。人間の精神は大槪十二三才の少年時代に因するもので、此間最も長時間兒童と親しむ母の精神敎育の人生に於て如何に高價なるものであるかは申すまでもない。兎角精神修養上の敎育を學校のみに託するなどは以ての外の間違であります。

私の幼時の家庭は實に貧困なるもので私が十歲の時に父を失ひ、母が獨り賃仕事をして私を育てたのであります。如何にして私が敎育されたかと言ひますと私の母は、私の口から申すのは稍可笑しく感ぜられますが賢母でありました。私は晝間は漢學、數學、習字、柔術、劍術を每日勉強しましたので、夜分は疲れて睡眠を催しコクリ〳〵とやると、母が行燈ごしに二尺の鯨尺で私の肩を靜かに敲いて『お眠りではない、勉强なさい、今の内に勉强せないと偉い人間にはなれない』と溫良く敎訓されました。此の敎訓が六十年後の今日までも身に添ひて、私が今日の如き勉强家になつたので、實に母の敎訓の賜に外ならぬのであります。要するに日本帝國の後繼者たる第二の國民を敎育するのには、學校に託するに學科を以てし、精神敎育は母の手で爲す事にして、さて石黒の今日の話を思ひ出されて、十分子供の敎育に注意せられん事を希望致します。

肺病やチブスの增加は 文明國の恥辱

內務省衛生局長　窪田靜太郎

近時の統計によると、我日本國民の死亡者中肺病による死亡率が年々增加し、特に小兒の死亡率が增進しつゝある。其原因は一般に衛生設備の不完全にありとは云ひ乍ら、亦各個人の衛生上の注意が足りないにも源因する事は明白である。

慈善病院を多く設立して貧民の患者を收容し、下水道路等の設備を完全にし、或は樹木を植ゑ、公園を造り都市美を保つも必要であるが、學校衛生の如き、就中敎師自身が肺病患者なれば公衆に接せず、兒童に感染せしめざる樣にするが如き公德心も必要である。又外國より渡來する傳染病を防ぐ爲めに門司、神戶などの如き貿易港にも完全なる衛生機關を有せねばならぬ。其他一定の法律を制定して市營魚市場とか野菜市場などを備へしめ、糞便の如きは成るべく殺菌法により消毒したる後に使用せしむると云ふやうにすれば可なる理である、けれども、日本の現狀態では其の實行は遺憾乍ら中中覺束ない次第である。單に下水のみに依つて見るも、現今日本の都市中、その設備があるのは京都、廣島、名古屋等の數市に過ぎなくて、而も其の實理想的に完備せるものは一市もなき狀態である。

抑も胃腸病の多きは未開國の恒であつて、歐米諸國では胃腸病は頗る尠く、腸チブスや赤痢は特に罕である。日本では現に主として胃腸より起る傳染病の爲めに、衛生警察費中年々五百萬圓の豫防費を消費して居るが、歐米諸國に於ては斯の如き事は更に無い。

我國に於ても糞便の運搬上に三百萬圓を投じて適當の設備をなせば、多少胃腸病を減少せしむる事が出來るのであるが地方官中此說に贊成するものがなき狀態であるのに見るも、我國の衛生的設備の前途は尙遙に遼遠であると云はねばならぬ。

希くは各自公德を保つて相互に傳染病の感染を避くるより外に良策はない。特に家庭の主婦は相當の衛生知識を養ひ十分衛生上に注意して、愛する小兒を病に罹らしむるやうの事なきやうせねばならぬ、小兒の罹病の多くは眞に婦人の恥辱である。

●盛岡通信

特命檢閱使西陸軍大將第八師團及獨立騎兵第三旅團檢閱の爲め去月十日來盛せられたるに付き發着の際日支部長以下會員多數停車場に出張して送迎を爲したり。

宮內省御用品
金線サイダー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山か海か

醫學博士　弘田長氏談

▲轉地保養の事　是れからは追々轉地の時候になりますか今迄我國では一般に轉地といふと海邊と限られ清淨な空氣といへば亦海の風と解され一も海邊二も海邊といふ風になつて居すが人々の體質や病氣の如何にも係らず老若男女一切萬般皆海邊轉地といふ事になつては甚だ困る譯であります中には海邊に保養に行つて赤痢病に襲はれたり或は重い腸胃病に罹つて東京へ歸つて辛と命を取止めた小兒などもあります早く氣が付き歸京して治ればまだしも海邊の旅館で前途の遠い愛兒を失つた例もいくらもあります之れ等の家庭を見ますと東京では立派な構造の家を以て居て衞生上の注意も一通は行屆き水は水道の清らかなものを用ひて居るのに轉地して却て面を洗ふにも湯に入るにも食物も食器を洗ふにも總て海邊の不良な井戸の水を使ひ自宅から見れば却て狹い部屋で然も一室に割合に多人數が寢起をするといふ工合ですから何の爲に轉地したか更に分らない位であります。

▲山と海の差　山の方も家屋の構造は海邊と大差はありませんが飲料水は一般に海邊よりは遙に良いのです其他山と海の差は種々ありまして空氣の清淨な點は同一でありますが海の空氣は濕氣が強く鹽分を含んで居る山の方は場所に依ると隨分乾いて居ります又氣温も氣壓も概して山の方が低いから隨て牛乳の貯藏なども至極容易であります

▲轉地に適する病　さて斯樣に比較して來ますと何病は山、何病は海と極めなければならないのですが之れは却て困難な事であります健康な小兒に就いても體質や性質に依て差別をつけなければなりません幼兒に就ては一層此點に注意を要します例ば腺病性體質の小兒では海邊に於ても山に於ても各々益する處があります然るに頭や顏に發病のある小兒(腺病性體質に多い)は海邊は却て皮疹を惡くするやうな場合がありますから結局一々醫師の意見を聞いて轉地するのが一番間違が少いので今日のやうに海邊萬能と考へるのは最危險であります即ち氣候を利用するが好いか清淨な空氣を目的とするか或は運動(游泳の如き)とか特別の温泉とか目的と場所とを好く考へ合さなければなりません我國は一體に海邊も山も適當な場所に少くない温泉も外國に比して遙に良泉が多いのですから好く目的さへ誤らずに利用すれば之れ程結構な幸福な事はないのです　(談　叢)

松の下風

(禁轉載)

京都大學講師　池邊義象

(九)

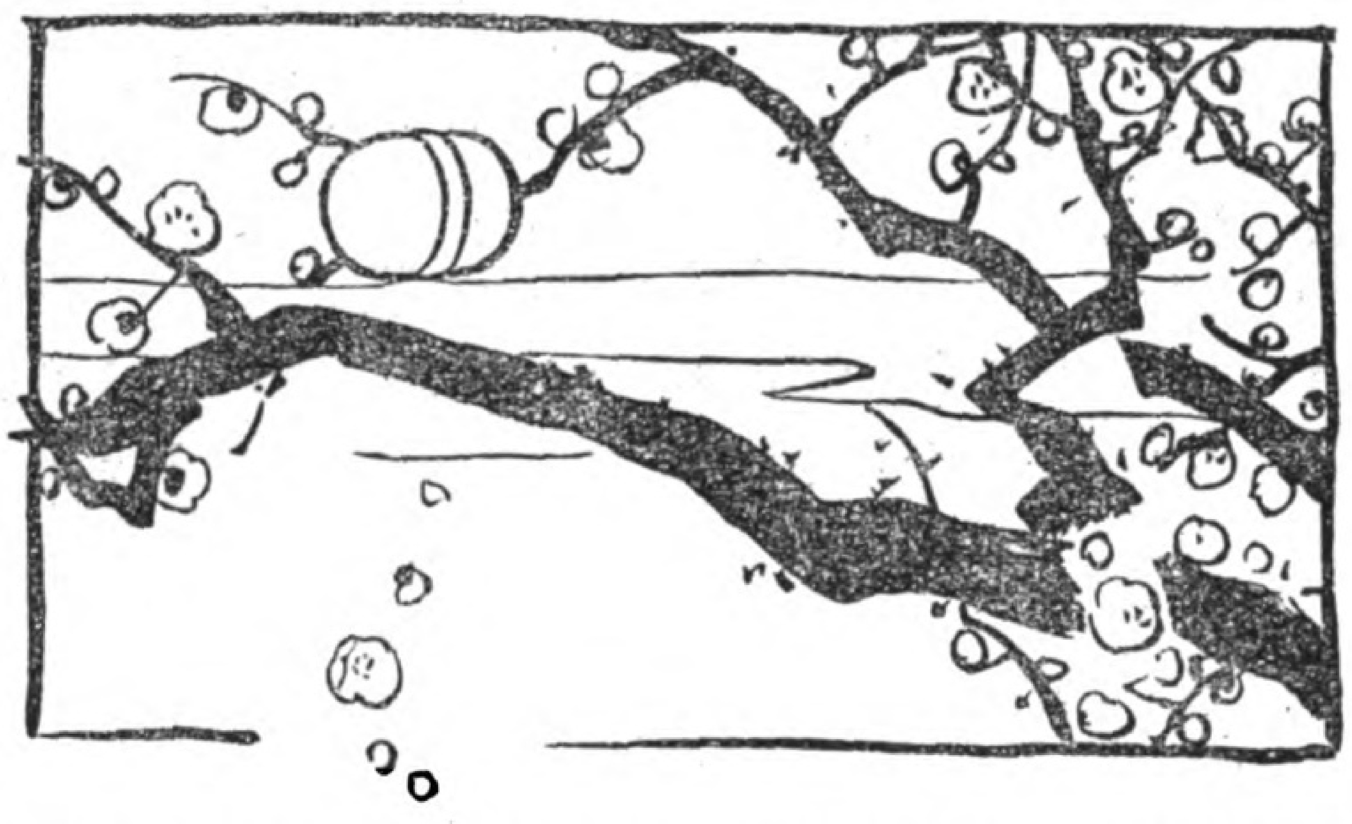
▲薄ころも

(一)かずならぬ身にはたゞおもひもなくてあれかし人なみなみのうす衣そでのなみだぞ悲しき。

この段は源氏東屋の巻浮舟母のうたに『かずならぬ身にはおもひのなかれかし人なみ〳〵にぬるゝ袖かな』とあるによれり、かずならぬ身には、數にもあらぬいやしき身といふ義にて、それより人なみ〳〵といひ、薄衣といへるなり、かゝるいやしき身には、何のおもひもなくてありたきとなり。

(二)あこがれておもひねの枕にかはすおもかげそれかとてかたらむとおもへば夢はさめけり。

夢はさめけりの一句いかにつよくいかに感慨あるを知るべし、俊成卿の女の歌に『おもひねの夢のうきはしとたえしてさむるまくらにきゆるおもかげ』といふあり、げにおもひこがれて逢ふと見し夢のさめたるは千金の寶を失ひたる心ちやせむ。



(三)しら雪のみゆきのつもるとしはふるともあくまじや、もろともにねみたれ髮のかほばせ。

積る年をいはむために白雪のみゆきのといひ出したり、年久しくなれる契のいよ〳〵ます〳〵あかさるといふなり女としてはみたれ髮は男に見せぬものなれとも、久しくなりて隔てなき中となれば、さる遠慮もなくて、ねみたれかみの顏もなか〳〵にあはれふかきとなり。

(四)引く人はそれ〳〵あまたありともつまことのもとの心かはらずはことぢにおちよ秋かぜ。

惣て琴の上よりいひかけたれとも、引くに袖ひくことをきかせ、爪琴に妻をきかせ、ことぢにおちよといふは、此方におちよといへるにて、中絶えし戀のこゝろなり、秋風のことに縁あること更にいふべくもあらず。

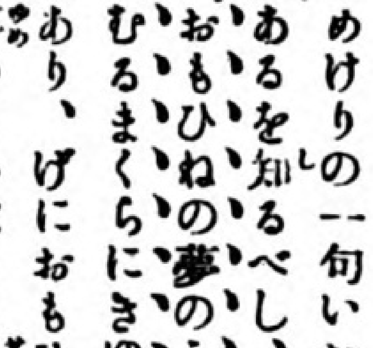
(五)柏木のゑもんの鞠をとんとけたれば、まりは枝にとまりければ、梅ははらりほろりと。

これは源氏若菜上の巻に、六條院にて兵部卿の宮柏木衞門などの蹴鞠して遊ばれしことをいへるなり、本文には櫻とあれど、うたの都合にて梅とかへたるなるべし、衞門は鞠の上足なりしなり。

(六)さりとてはつれなやひかふる君かたもとのあやにくになひかぬは、てがひの虎のひきづな。

ひかふるとは引くといふをのべたる詞なり、この段も上をうけたるにて、彼の蹴鞠のありし時、女三の宮の御手飼の猫他の猫を追うて翠簾のはしより走り出たるに、猫の綱ならみて翠簾あがり、宮の御姿あらはれたり、柏木この御姿を見て戀せしかども、宮はつれなくもてなして過されたることをいへるなり、てかひの虎とは猫のことなり。

この一組は數ならぬ身にはおもひのなかれかしといふを本として、さは願はしきことなれども、人のおもひは止まざるの習ひなりとて、さま〴〵の情思をのべたり、かくて五六の處に至りて、柏木衞門がことを引出でゝ、及ばぬ思ひをすべからすと戒め遙に初に戀しておもひのなくてあれかしといふに結びなせり、この一組の詞結句いづれも〳〵餘情こもりてめでたし、ことに三以下體言にてとゞめたるは、一しほの手きゝといふべし。



蟲賣

◎金魚屋の隣りに紙子張りの籠を下ろして蟲賣る人に、蟲の價格を尋ねましたらば「蟋蟀が一匹七錢、鈴蟲が七錢、閻魔蟋も七錢、金雲雀十二錢、草雲雀十五錢、邯鄲廿錢、大和鈴十三錢、轡蟲十八錢、機叩十二錢、馬追蟲六錢、ぎすは少々高價で廿五錢、エー旦那一匹如何さま」と答へました。

◎此の商賣は讀者諸姉先刻御承知の通り却々詩的なもので、殊に德川時代の蟲賣は新形の染浴衣に茶献上博多の帶をしめ、俳優の手拭を四つに折り一寸頭へ載せたものださうです。

◎蟲賣りの元祖はと云ふと、寛政の昔、神田に忠藏と云ふおでん屋があつて、此男毎日おでん〳〵と市中を呼び歩いて居つたが、或日根岸の里で美しい蟲の音を聞き、夫れからは日々此處へ來て獨り樂んで居た其の中、二三匹蟲を捕へて家に持ち歸り、今度は家で樂んで居たが、風流の人々から我にも我にもと所望されて遂に蟲賣になつて了つたさうな。

◎蟲類の問屋が東京市中に二軒ある。淺草橋際の吉野屋、下谷御徒士町の角屋、此の二軒で年々卸す蟲の數は約十萬内外で、小賣商人は百人以上もあり、一人一日二圓近くの商賣があると云ひます。

◎今日市中に賣られてる蟲は野原から捉へて來たものではなく、皆人工に因つて孵化されたもので、蟲屋仲間で之れを圍とか牢とか云ひ、野生の蟲を山と呼んで居ます、之れは八月中旬頃からでなければ出ません。

◎人工で蟲を造る法は、先づ晩秋の頃に甕か又は箱の中へ赤土を入れ、其中へ壯健な雌雄の蟲を三四疋入れ、床下か又は地の中に圍つて置くと、互に交尾する、そして雄は間もなく倒れ、雌は尻の鋭尖から土中に卵を產み、之れも終に死んで了ふ、翌年の三月頃になると自然に孵化し許多の小蟲が群がつて居る、最初は小鳥に與る摺餌を食べさせ、段々成長するに從ひ茄子などを與へるのです。現今は孵化法も大層進歩して温室など用ひるので、何時でも自由に蟲を造る事が出來ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●外人の好める京都

日本をして世界の一大樂園たらしめよ

鳥井喜賓會幹事

喜賓會は外人をして愉快に日本を觀光せしめたき目的の爲めに設立せられたる高潔なる一小會であつて、鏑木小將等が此の好事業をして有終の美あらしめんと熱心に努力して居られるが、未だ理想通りの運に至らないのは轉慚愧の至りである。

外人の歩を到る處の遊覽地に駐めしめんとせば、ホテルの整頓も急務には違ひはないが、其のホテルの宿泊料等を高價ならざらしむるに注意する事が第一適切の條件と信ずるのである。既設ホテル事業の多くを見るに、外人の來遊期即ち四月より六月、九月より十一月に至る、此六ケ月間以外には空室を守る事が多いので、他の六ケ月間にて一ケ年間の總ての費用を收得せんと努むる故、從つて宿泊料などが不廉なるものとなるのである。

これはホテル業者の現狀より見れば止むを得ない事ではあれど、可及的其地方の人民がホテル業者に同情して、空室時期即ち十二、一、二、三、七、八の六ケ月間は葬婚歡迎又は送別會等の機會に利用して室料を得せしむることゝしたならばホテルの經濟も幾分裕になり、宿泊料の幾割を減じても宜い事となるであらう。

又名所舊跡の保存も必要であつて、各地方特有の特色勝地を永久に維持する事は最も美なる習俗と云ふべきである。

京都には何故に外國人が永く駐まりて其の美を激賞するかと云ふに、京都が名所舊跡に富むのみならず、京都人士、殊に京都婦人が有せる古代的の美と、優雅なる習性が外人をして崇高の念を起さしめ、古き都の面影に同化せしむるからである、と同時に、京都の風色が新文明の俗臭を交へず、舊都の舊都たる面影を損じないのも一の原因である。然るに近時到る處に大工場等が設備せられて、日に月に沒風色たらしむるの弊あるを見るは吾人の感慨に堪へざる處である。

又各地の人士が、京都人士の如く多少の外國語をも解し、美術や文學の研究等に便利を與へ得るが如きも必要なる條件である。更らに道路橋梁等の設備を完全し、上水下水の整頓と共に生活狀態を清潔にして同時に交通機關の發達を爲さしむべきである。伊太利が觀光外人の足を長く駐めしむるのは、結局是等設備の完全と淳樸なる國民性によるのである。日本に於てもせめて海水浴場のみにても伊太利の如くに完備したるものがあつたならば外人の歩を貳ケ月や三ケ月間駐めしむるは容易の事である。

呉服店の出口

其外裸體的惡習慣も一般に注意すべき事であるが、是等の諸點に注意を怠らなかつたならば獨り京都に限らず到る處山紫水明の日本國は一躍して世界の一大樂園となり得るであらう。

●衣服の洗濯法(三)

高山繁

●白羽二重の洗濯

白羽二重の洗濯は大變に熟練を要するばかりでなく、手順も稍繁雜でありますから詳細に說明致しませう。

先づ過酸化曹達の液にて洗濯物を濕し朴か又は公孫樹で造られたる洗板の上で角楊枝もて洗ひ、清水で水洗し、稀硫酸液に通し、再び清水で濯ぎ洗ひ、ベレンス青の稀薄い液中を通し、更らに稀錯酸液を通して、日陰干を爲し、最後に霧吹きを爲し、火熨斗を爲して仕上げるのであります。極めて簡單に順序のみを申しても尙ほ斯の如くでありますから、以下右の順序に從ひて、詳細に述べます。

一、過酸化曹達液を用ひ角楊枝にて洗ふ事●先づ過酸化曹達の液を準備します。過酸化曹達は帶黃白色の粉末で、大變激烈なる作用を致しますから充分取扱に注意をして、決して直接に手を觸れてはいけません。この藥品を微溫湯に溶かして溶液を造ります、それには瀨戶引き洗面器か又は木製の小盥の中に丁度手を觸れて程よい位の溫みの湯を用意し、此の湯二斗位に對して過酸化曹達を珈琲匙に一杯、目方にすれば八分目程の割合に入れ、攪拌せ、今洗はうとする羽二重を此液中に濕して、直に朴か又は公孫樹の洗板の上に移し、先づ角楊枝の角の丸みのところで、垢の附いたる部分を擦り、液を濺ぎ掛け、後楊枝の毛のところで擦り洗ひて而して後、再び過酸化曹達の液中に濕して直に板の上に移し、既に全く洗ひ終つたなれば又直ちに清水中に移して水洗ひを仕ます。羽二重は初め過酸化曹達の液に濕してから洗ひ終るまで、凡そ五分間で結了やうに致さねばなりません即ち過酸化曹達の液の冷えきらないうちに洗ひ終るやうに爲なければなりません若し洗ひ終らないうちに冷却する恐がありましたらば、液を湯煎にして溫度を適度に保たしめます。

尙これに付て注意する事が尠くありません、引續き次號に別記致しませう。

●今年流行の羅物

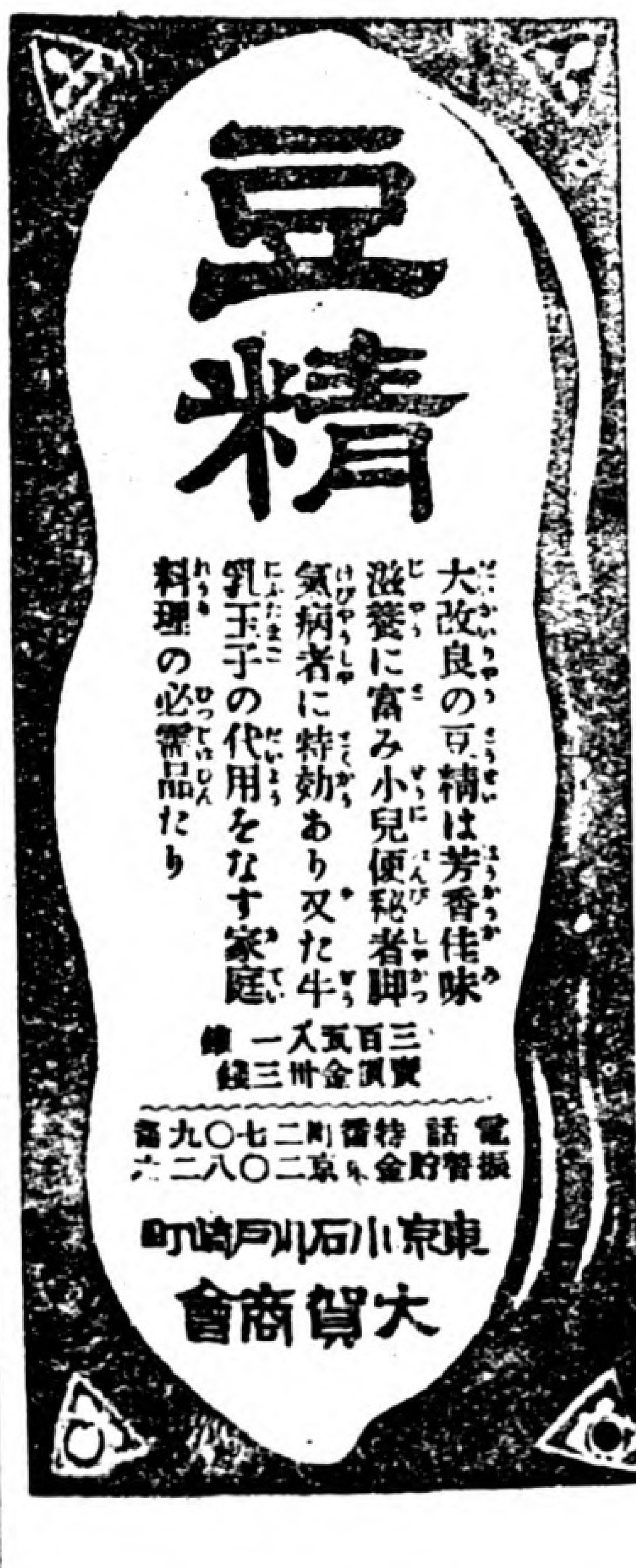
明石の格子、羽二重の染帶

▲縞物類　明石の不規則な格子縞が最も流行し地色は昨年よりも更に薄い鼠、若向には藤色の凡て落付のあるもの、老氣向には藍か紺地の雨飛白が喜ばれ其他紗に縞柄を織出した絽凉織紗お召、縞入紋絽、縞絽縮緬などを用ひ透綾は平織よりも綾織、壁縮を好み孰れも不規則な格子縞が流行する▲紋付類　絽、壁、透綾、壁上布、明石の類で模樣は有職風の花模樣地色は春向よりも薄い薄鼠、若向には極く薄い藤鼠、瀞水色、重れは廊よりも純白の練を採る▲帶地　紋付には絽の唐織、清紗織の類に色彩の薄い瀟洒な有職風花模樣を現はし又は絽及び鹽瀬類に有職風花模樣の蝶鳥等を涼しく銀糸で縫取なする、縞物の帶には染帶の羽二重、高波羽二重、漣羽二重、吉野羽二重等が第一で之に紋織、高波等を合はせる又最も涼しい越後縮でやたら縞格子縞等特に帶地向に織つたのもも出來て居る▲襦袢　友禪絽、露絽、紗を交へたもの等に藍で滿紫紺の草花を現はしたるが流行す又絽か白無地の越後縮にドロンウオークを應用しレースに編んでかゞつたのがある之は洗濯し出來て重寶、麻類では越後縮、熨斗越後の類▲半襟　絽の白地で色糸の少い友禪、藍色で濃淡の模樣ある刺繡物、水淺黃に花模樣を銀糸で現はしたるものなど歡迎せらる。

▲女子文壇は到處の令孃に注意して讀まる、雜誌
各七月號出づ
東京市麴町區飯田町　女子文壇社發行
女子文壇　價十五錢　送一錢半
少女　價拾錢　送壹錢
▲全國到る處の本屋に販賣す▲
內容豐富論より證據速に試讀あれ
▲少女は愛らしき少女達の讀物には一等評判よい雜誌

日本橋區元大阪町八番地

高木與兵衛

中元御進物好適品


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

瀬川之子 (下)

ふく子

▲愛讀の書

隱居して以來も、絕えず文學の道を勉めて、遂に人の勸めに由つて、松前侯の奥方に、和歌物語類の御師範をしたとの事であります。

出入の書肆の店に有る本は、洒落本を除く外、大概讀んだとの事で有ります。歌は伊庭秀賢に學び、書は松下堂を習つて頗る美事で有ります。祝詞などは、夫歿後大概自身で書かれたそうです。愛讀の書は源氏物語枕草紙萬葉略解等で常に側の人に、源氏物語の批評を聞かせられたとの事です。曾つて左の樣な事を云つて笑はれたと云ひます。私の所へ源氏を借りに來る人は、皆始めの四五冊丈で、半迄も讀む人は、少ない。之で何うして、眞意が分るものではない。一度や二度讀んだとて分らぬものを、況して、始めの四冊や五冊斗讀んで止めるやうでは、何も分りはせぬ。どうして皆其樣に根氣の無いものか。書く人の骨折を思ふたら、百遍讀んでも足るまいにと、云はれたとか。げに此根氣よりして、何事も成就せられたのでありませう。若此人が源氏の評釋を書かれたならば、定めて面白い見解が有つたらうと思はれるに、著書のないのは、返す〳〵殘念で有ります。曾つて田舍源氏を評して、種彥は文章は巧みだが、之では式部の精神が、一向に傳はらぬ。只繪が綿密で正しく八代將軍頃の大奥が忍ばれるのが面白いと云はれたそうです。

▲繪にあるやうな隱宅

根岸笹の雪の近邊に、隱宅をしつらはれて、婢女と只二人切りで、久しく住まはれたそうですが、其家居の樣が實に面白い。百餘坪の地面に杉の生垣を繞らはして、一方は、笹藪につゞいて、野外の原を見晴らして居る。正面の柴折門を入ると、右手には、日本武尊の像を安置した、小やかな社が有て、左には、白木蓮の大木が一本有る限りで、そばへ遣水が流れて居る。奧庭とは、垣で堺がしてある。其庭と云ふのは、木は一本もなくして自然のまゝの草花が咲亂れて、遣水に影を映して居るなどは、いひ知らぬ趣があるそうです。其廣い庭の片隅に草葺の東南に面した家が建てある。

其家の樣が又雅致に富んだものだそうです、柴折門から飛石を傳はつて行くと、簾を垂れて、障子が建てゝ有つて、其障子を明ければ、直ぐと、疊椽と成つて居るのです。別に玄關は設けませぬ。座敷は居間とも兼ねて居るので、十疊の間に廻椽で、床違棚は普通ですが、其又裝飾が凝つて居るのでございます。床には一幅の掛物を掛けた計りで、花などは決して活けない。置物も殊更に置かないで、神事に用ふる鈴など、柱に掛けてある事が有ります。違棚の前には、細美の幕が垂れて有つて、其中には、愛讀の書や、七弦の琴などが置いて有るのです。椽には蒲席を敷いて、片隅に大きな花瓶を据えて、何と云ふ事なしに、草花が摑み挿しにしてあると云ふ有樣、そこに氣品の高い老媼が靜かな朝夕を送つて居ると云ふのは、實に何かの物語を其儘見る樣な感じがするではありませぬか。一體此人は凡てに、眞の趣味を解して居たと見えて住居は勿論歌も書も凡て月並の厭味が有りませぬ。所謂風流を氣取て俗に陷るの輩とは全く違ひます。月の夜などは、心に適へば、只一人夜更迄起きて、眺めて居られたとの事です。『いづる時そがひになりし月影を眞ほになるまで眺めつる哉』とは左樣の折の詠でございませう。歌は非常に秀でゝ居られたそうですが、惜しい事に詠草は失せました。僅かに御江戸和歌集に

逢はざる戀

つれなくて過も行く哉人知れず胸とゞろかす小車の音

わらび

これもまたもゆるものとや柴人のわらびをさへに折りてそへたる

の二首が載つてをるのみであります之子が世を終はつたのは慶應四年七十三の年で、其晩年は五條天神の境内に、隱居所を別に構へて、一年計住んで、其所で終はつたとの事で有り升。七十二歲まで衣食の事大方は手づからせられたと申ます。其故は、生來心の至らぬ者は、婢女に敎へても、思ふやうに出來ぬ故、むづかしきは出來る丈の事をせしめて、小言を云はぬ方がよしとて、然かせられたのだと申ます。(完)

●水盤界

▲熱心家　銷夏の手段として盆景を作る傾向は年々盛になつて來ました目下上流社會では大阪の鴻池氏を筆頭に東京では伊藤公、相馬伯、末松子、稻葉子、岩崎男等最も熱心の部で黑人向では三銀水石園、苔香園等であるそうです。

▲前中遠　製作法は水盤面を前景中景遠景の三種に區分して山、木人物家屋等夫々大小に應じて遠近を配するので遠山を作るには苔を用ひるが苔は天日に當てゝ萎れた物を手で揉み土砂に混じて水を與ると自然に青山の如く繁つて來ます此れを持込と云ひ粘土で山型を作り其上に生苔を植ゑるのを一時的と云ひます而して苔の荒いのを稀に使ひ小かいのを頂上に用ひると立派な山が出來上ります。

▲夏木立　には小さな木を用ひるが之は植木屋にも緣日にも賣つて居る玉杉は一本三錢より五錢雪柳(下草用)一株五錢内外松同五錢より十錢杉同七八錢であるが便宜山から拔て來ても好いのです。

▲海川入江　等は砂利を敷ます小さいのは遠景用大きいは前景用で黑白茶等で水、汀、磯等を見るのですが砂利の産地は近い處では玉川熊谷根岸大磯等で白砂は京都花崗砂利を用ひますが陶器店には何處にもあります一合三錢より八錢位

▲水盤の相場　は尾張白尺一圓二三十錢東京製同七十錢八寸白八十錢以内磁器製支那風尺二圓五寸三圓半材料は一箱ならば廿錢内外支那交趾燒人物一箇五六錢動物同七八錢▲斯くして出來上つた水盤は朝夕各一回口先の小さい如露で水を與へるこれが過ぎると苔から蟲が湧くから注意しなければなりませぬ。

世の多くの婦人は
子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるか一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥服應用である、爲に内服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必要に内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく十數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將球を使用すべき諸症を同病患者に告白す、幸ひに自己の症狀考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足な結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込まれよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮糜爛、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時疼痛、痳毒性子宮病等に特効あり殊に良人の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲め心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙症と流產、子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝用なり定價百二十個五圓、四十五個二圓、二十個一圓、九個五十錢、三個二十錢、本舖は東京日本橋四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です◉取次全國各藥店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句 蚊遣火

鳴雪先生選

天 宮守りの獨り月夜を蚊遣かな　尾張知多郡成岩町 榊原津田子

地 折りくべて松を蚊遣の夕餉哉　神戸市兵庫湊町 三畑たか子

人 火に置いて燃えよとあふぐ蚊遣草　長崎市油屋町一松尾方 德永育子

佳作

江戸の夢覺めて田舍の蚊遣哉　神戸 三畑たか子
且つあふぎ且つ抑へたる蚊遣哉　長崎 德永育子
蚊遣たく女美くし夕月夜　三河 田原經子
旅人に宿乞はれたる蚊遣哉　岡山 森島古野子
蚊遣火の折々もえて暑さ哉　同 同人
いつ暮れて青葉の宿の蚊遣哉　尾張 榊原津田子
蚊遣火の軒を這ひ行くあつさ哉　同 同人
垣根草むしりて庵の蚊遣する　同 同人
川口に夜泊の船の蚊遣かな　同 同人
短夜なかやりひのたつはやさ哉　芝 小山季茂子
かやりして朧となりぬ窓の月　備後 世懸龜子
小簾の中に人ありかやり哉　同 同人
かやり火の煙なつかしうばの里　みどり子
蜑の焚く藻汐の蚊遣曇るなり　同 人
蚊遣して汐まつ船や月の下　函館 肥田愛子
蚊遣して窓に夫まつ伏屋かな　同 同人
夕がほの宿にもけぶるかやり哉　長崎 相部よし子
蚊遣火の煙も赤し夕月夜　日本橋 大橋まさ子
降る雨にいぶせき宿のかやり哉　同 同人
山本はかやりにくもる月夜哉　美作 西村長子
となりにも又となりにも蚊遣哉　同 同人
膳据えて歸る人待つかやりかな　本所 小川はる江
子を抱いて重き蚊遣の火箸かな　淺草 堀君子
古窓にふとき煙の蚊遣かな　神田 鶴岡とく子
蚊遣焚くけふりもしろし雨の宿　麻布 ふさ子
安宿の夕餉はふ蚊遣かな　岩代 長谷川芳野子
念佛を口に老尼の蚊遣かな　同 同人
老二人椽に語らう蚊遣かな　青森 棟方みよ子
椽先に子猫のむせぶ蚊遣かな　同 同人
蚊遣して暫し立て切るひとま哉　三重 莊司種子

▼愛國文苑▲

◎和歌　佐々木信綱先生選　雨後納涼(七月五日締切)　夕立(七月廿日締切)

◎和歌　坂正臣先生選　野草花(八月五日締切)　島(八月廿日締切)

◎俳句　內藤鳴雪先生選　夏期雜咏(五日、廿日の兩度締切)

▼愛國文苑▲

追憶

愛國婦人會のことわけな人々に示さんとて信濃路にものしけるほど諏訪の里を出立ちて鹽尻峠となんいへるけはしき山を越えけるなり富士の峰のながめえもいはずいみじければそゞろに歌のうかびける

故 奧村五百子

諏訪の里たちいでくれば鹽尻の
たうげの上に富士を見るかな

いとまなきまゝ久しく之れも歸らず故里の事おもひつゞけつゝ

ふるさとの軒端の梅は咲きつらん
うくひすならで人はとはまじ

こども

ひで子

◎小兒の正直　「このお嬢さんはおいくつです」と電車の車掌が切符を切る鋏をシヤに構えて申しますと、お嬢さんは母樣の顔を見上げて「ネー母さん、アタイ、今年は七歲だけれど、電車に乘ると五歲と云ふのネー……」

○天眞爛漫　母の乳房を摘みながら太郎は「母さんてば、私のねむくない時ばかり私をねかして、ほんとうに眠い時には、私を起こすのだネー」

◎　橫濱 深川花子

十一歲になる照男と九歲になる金吾の二人の弟を同伴て穴森稻荷へ參詣しました折「姉樣此度に花屋敷縱覽無料と書てあるから早く行つて見ませう」と申しますので、私も花は大變好きですから急いで見に參りますと、弟等が、眼を丸くしてなんだか物足りなさそうにウロ〳〵致して居りましたが、「姉樣此處は菖蒲やなにか、花ばかりですねえ、山雀の芝居もあやつり人形もありやしない、そして象もお猿も熊も居なくつて花屋敷だなんて、嘘ばつかり言つてるねえ」と憤つて、ホントーの花屋敷に行きませうと申しましたので大笑ひ致しました。

▽六月八日(水)晴　伏見宮殿下モスコー御出發西伯利亞經由御歸朝の途につかせられる　◉伏見若宮同妃兩殿下米大統領と御會見

▽同九日(木)曇　去る七日夜半伊國アヴエリノ州に起りたる大地震御見舞の御親電を伊國皇室へ發せらる　◉皇后陛下竝に東宮妃殿下濱離宮行啓

▽同十日(金)晴　伏見若宮同妃殿下優遇を受けられたるに付き天皇陛下より米國大統領に御謝電あり　◉伊國皇室より我皇室に御謝電來る　◉皇后陛下九段能樂堂に行啓閑院宮御主催の能樂御覽、東宮同妃兩殿下も同じく御臨場遊ばさる

▽同十一日(土)晴　昨日の御謝電に對し米大統領より懇篤なる答電來る　◉泰宮殿下御誕辰御祝宴(因に去月十一日は同殿下第十五回御誕辰に相當せしも英皇帝崩御の爲め御祝宴御延期中なりしなり)　◉東伏見宮同妃殿下葉山に御成り　◉朝香宮同妃殿下御歸京

▽同十二日(日)晴　東宮竝に皇孫殿下華族會館行啓打球戰御覽　◉入梅

▽同十三日(月)晴　白國皇帝より我皇室に對し感謝の意を表せらる(日英博覽會陳列の爲め御物御寄贈あらせられたる爲め)　◉印度マユアバンヂ國王カンカデー、バンヂ殿下來朝　◉水難救濟會總會

▽同十四日(火)雨　東宮殿下參謀本部御出務　◉名古屋共進會閉會

▽同十五日(水)雨　故錦鷄間祗候長谷部辰連氏葬儀執行に付き祭粢料御下賜　◉華頂宮殿下鎌倉御成　◉日本赤十字社日露戰役中恤兵品寄附の廉に對し其筋より金杯一個を下賜さる

▽同十六日(木)曇　獨乙ブラウンシユワイヒ公國攝政王ヨハン、アルブレヒト、ツー、メクレンブルヒ殿下及同妃エリサベト、ツー、ストルベルヒ、ロスラ殿下入京

▽同十七日(金)雨　獨乙皇帝御不例に對し天皇陛下より御見舞の御親電あり　◉智利國及墨西哥國獨立記念祝典擧行に付特派使節任命　◉島津珍彥男長逝

▽同十八日(土)曇　東宮同妃兩殿下選奬勸展覽會行啓　◉獨乙皇族參內　◉日墨郵便條約公布

▽同十九日(日)晴　迪宮、淳宮、光宮三皇孫殿下上野動物園博物館御成　◉伏見宮殿下大連御出發　◉全國藥劑師大會

▽同二十日(月)晴　聖上 皇后兩陛下國賓アルブレヒト公同妃御訪問

▽同二十一日(火)晴　東宮同妃兩殿下國賓アルブレヒト公同妃御招待　◉閑院宮殿下甲府御出張　◉樞密院顧問官稅所子爵薨去　◉露國觀光團(東淸鐵道附屬哈爾賓商業學校及徒弟學校教員生徒男女四十三名)入京

▽同二十二日(水)晴　夏至　◉拓殖局官制公布(桂首相任拓殖局總裁、後藤遞相任同副總裁)　◉獨乙皇族退京

▽同二十三日(木)晴　伏見宮殿下御歸京　◉故稅所子爵に對し祭粢料御下賜

▽同二十四日(金)晴　皇后陛下新宿御苑行啓　◉閑院宮殿下橫須賀御成　◉韓國警察委任

▽同二十五日(土)晴　東宮妃殿下竝皇孫淳宮殿下御誕辰日　◉閑院宮御歸邸

專賣特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

大三圓　中二圓五十錢　小一圓九十錢

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五

特許竈　据風呂

名和商店

電話浪花一一七七　振替口座一〇二五四

支店 神田和泉橋通松永町十八

說明書　御希望の方へ進呈

化學の進步が發見せし ビユウテイは

五十倍の効力ある 美顏化粧原料

色白く艶を出しニキビ、タムシ、ソバカス、ハタケ、ナマヅ吹出物一切を去り眞正の美人となる

定價 三十錢 五十錢 一圓

本舖 東京神田 山崎帝國堂
大阪高麗橋一丁目 同支店

最上醬油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衞門

釀造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衞

宮內省御用達

最上醬油之元祖

上

開業貳百六拾六年

釀造元 下總銚子町 濱口合名會社

振替貯金口座五〇貳壹番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN
UNIVERSITY OF MICHIGAN LIBRARIES

新聞舊聞

▲伏見宮殿下御歸朝　日英博覽會總裁として英京に赴き兼て陛下の御名代として英國先帝の大葬に參列遊ばした伏見宮貞愛親王殿下には、去る二十三日午前九時、無事新橋驛に御着、御歸朝遊ばしました。殿下は三月二十六日東京御出發以來常に御壯健にあらせられ、英國より海を渡つて佛、露各皇室を御訪問あり、西伯利亞鐵道により四ケ月目に御歸朝遊ばしましたので、今回が四度目の御渡歐であります。

◉外人へ金杯下賜　三十七八年戰役の際從軍者家族扶助の爲め金圓を寄附したる英國日進春日兩艦航海員代表者エドワード、エル、ケリウヰル、京濱在留外國人戰時救助協會々長ジエームス、ウオルター氏其他二十三の外國人團體個人に今回賞勲局より金杯を下賜されました。

▲秋田支部有志の美擧　青森市大火罹災義捐の爲め愛國婦人會、秋田支部有志、並秋田市幹事部有志、及秋田市內基督敎會聯合會主催となり五月二十日同縣公會堂にて特に慈善音樂會を催し候處未曾有の盛況を呈し其の收支決算別紙の通りにして（別紙略す）純益金三百圓七十九錢一厘は六月四日青森縣知事に寄贈し各罹災者へ分配方依賴候間此段及御通信候也。（秋田支部通信員）

▲富山支部の活動　愛國婦人會富山支部にては今度軍人遺族並に廢兵の慰藉に供し傍ら會旨の普及を圖らんため去る四月に活動寫眞器を購めて以後各地で慰藉會を開いて居られるが大變好成績だとの報知がありました。

▲女生徒の養蠶　東京府下豊多摩郡郡立農學校にては、本年初めて女生徒に學科の傍ら蠶を養はしめ非常の好成績を占めました。すると元來同地方では蠶業を爲すもの殆んど稀でありましたが、之れを手本に附近の住民が來年は是非蠶を養ふのだと意氣込んで居るそうです。

○首飾りになる螢　日本の螢は五六分位が一番大きいのであるがメキシコなどには大きさが一寸餘りもあつて胸と尻と二ヶ所で光を放つ珍しい大きな螢が居る實に美しいものだ相で土人は夫れを集めて前垂の布に包んで提灯の代りにし中には女の頸飾りに使つてゐるものがあると……（東京朝日の五味欄）に

⊙鴉の集會　動物は動物同志相互に何等かの方法で消息し合ふものに違ひない、殊に鳥の集會は見るから興味あるので威風凛々冒すべからざる態度で其の會を續けて行き何か或る論點に於て意見の相違が生ずると忽ちがあ〳〵噪ぎ初める夫れから席次に起立して各自の解釋を試みることまで行る、とは云へ終には彼等は如何樣にか決着をつける……とセ、ストライキ、アツト、シエーンス著者が云つて居る。

▲ハレ慧星はどうなつた　七十五年目で一時世界を騒がせたハレー慧星は一日に何百萬哩と云ふ速さで昨今では地球から一億萬哩以上の遠方を三十億萬里の遠くを見當てに長途の旅路を急ぎつゝあるそうです。

お父樣はまだ
お歸りにならないの
私のこしらへたおいしい
アイスクリームが
出來てるのに!!

ほんとうに
白山印（三重廻轉）
アイスクリーム
製造器械は
誰れにも上手に
出來てよ!!!

一コート入　金四圓也
二コート入　金四圓七十五錢也
三コート入　金六圓也
（定價表製造法は御申越次第進呈可仕候）

新橋　龜屋鶴五郎
電（一三六二）

婦人世界

七月一日發行 五卷 第八號 一冊十五錢 郵稅一錢 半年分一圓五十錢郵稅共 一年分二圓五十錢郵稅共

◎婦人の芝居見物の利害……村井弦齋
◎子供の避暑に就きて注意すべき事あり……加藤南紺博士
◎糠汁にて脚氣病全快せし多くの實例
◎良人の銅像除幕に列して泣く……杉野りう子
◎病床で料理を揃へた尾崎紅葉山人……尾崎菊子

◎家庭に於ける軍神廣瀬中佐……故廣瀬中佐令嬢 廣瀬春江子
◎私が一年間に體量三貫目増した實驗……村井弦齋

◎海上暴風に遇ひ九死に一生を得た實驗……中村千代子
◎伊豆大島に於ける婦人の不思議な風俗を見て來た記
◎良人が切腹した當時の追懷談……武市富子
◎英國にて五人の子供を育てた私の實驗……園田銈子
◎趣味多き名流令孃のお稽古しらべ

東京京橋南紺屋町十二　實業之日本社　（郵便振替口座貳參六番）　賣捌全國書店

御進物好適品

切手調進仕候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

赤穂義士の内 勝田新左衛門

大島光利口演

第二席の六

折りしも玄關に訪ふ聲、賴む〳〵と云はれて久助參つて見れば別人ならぬ當家の婿、勝田新左衛門武堯なり、昔に復る武士の扮裝、昨日の八百屋に引替て金作りの大小を帶し 新『下郎、舅重兵衛樣御在宅か、昨日は久方の拜顔、大雪と云ひ往來中、碌々御挨拶もいたさぬ、殘念ながら御別れ致した、今朝ももつと早く參らうと存じたるが、雪の爲めに步行も心に任せず、漸く只今參着いたしたと、宜しく御取次下だされヨ』と述る音聲は正しく勝田、重兵衛は正面の襖を排いて嬉し涙を浮めつゝ、見ると昔し同樣ゆゝしき扮裝、餘りの嬉しさに後背を回顧 重『ソレ娘も孫も、勝田が見えたぞ、吩咐た通り能取片附ヨ、萬事に心を配り正面に來たつて會釋なす、勝田は左の手に刀を提つゝ先づ奧座敷の十疊へ通る、今日は勝田の忠義を祝し弓矢の神の加護を祈らんとて八幡大武神の大幅を床に掛たり、尙神酒と燈明を供へる、新左衛門は絕て久しき舅の家、四方を見廻し、妻の花や悴の新太郎は何處に居るかと無量の意味ある眼付にて左右を見かへる容子、重兵衛は思はず膝の進むも知らず、前に在たる煙草盆を鑼出して、一別以來の挨拶互の無事を祝す、尙淺野家斷絕殿樣切腹の事を語り出して共に悄然と涙にくれる、折しも襖しとやかに排きて出たる勝田の妻は末座に三つ指を挾へ小笠原流の禮儀正しく 花『久々御目もじもいたさず、每も御變りもなく、昨日は圖らず父が途中で御目にかゝりし由、今朝御出と承はり坊やも樂しんで御待受申しましたと恨みの口上只一言も云はず、無事を祝したる言葉少なは最嚴格なり、武士の家庭に生立し日本婦人の本領を現し最なくゆかしくも見えました、新太郎は末座に手を挾、御機嫌宜うの片言葉は一層愛らしさも增、軈て新左衛門は妻に對ひ 新『一年半以上の永の間御老人の御介抱いたし我が兒を保育てたる段改めて拙者から禮を申すと優しき言葉に花は涙を浮めつゝ 花『御不在中は何事もなく無事に暮し居りましたが、殿樣は御切腹御臺樣は髮の毛を切拂ひ尼同樣の御姿にて南部坂の御館にまし〳〵と御噂を承はるさへ御痛はしく、夫に比べますれば妾などの不自由は九牛が一毛とやら、別に心にも止ません、御時節が故、下女にも暇を出し妾が下女代りに働いて居ります故此手先を御覽下されヨと出す手先はひゞあかぎれ、以前に變る其有樣、百石の家に緣付下女下男を使ひ、或時は琴を彈じ又或時は詩歌管絃茶の湯等何不自由なき身の上なりしも御家御斷絕の其時より斯艱難を爲したりと云はぬは云ふに大丈夫の武士の妻とて言葉なく荒たる手先は夫への馳走、勝田はハタと膝を打つて 勝『宜うこそ不在中堅固に守られた御祖父樣の御育てがら、新太郎も一層おとなしく利發になつたやうじやと云ひつゝ、我が兒の腮の下に手を入れ、見上げ見下す親と兒が二年越の面會も、是今生の見納と思へば流石大丈夫も恩愛の涙せぐり來たつて暫くヂット凝視る容子、仔細ありげな此場の擧動、正面に控へたる重兵衛は勝田の容子を瞬もせず打眺めて居りました、降しきる雪の中に勝田新左衛門が親子夫婦今生の別れを告るの一節、

雜錄

▲京都支部の移轉 愛國婦人會京都支部は今回京都市上京區河原町通二條南入ル一ノ舟入町四五に移轉せり。

▲音樂講習會 神田町錦町三、日本音樂協會にては男女を問はず普く音樂科教員及該教員志望者並に東京音樂學校入學志望者等の爲め來る二十五日より三週間第八回夏季講習會を開設するにより希望者は二十三日迄に入會を申込むべしとなり。

▲東京市教育會夏期講習會 女教師及女兒擔當の男教師の爲め來る八月一日より十日間神田小川小學校内にて圖畫及手工科の講習會を開く由にて希望者は七月二十五日迄に講習料一圓を添へ東京市役所内同會事務所宛に申込むべし。

◉婦人畫報七月の巻 畫報界の明星、婦人雜誌中の白眉として好評を博しつゝある婦人畫報は近來益々販路擴張と共に誌面にも改良を加へ、鮮明なる寫眞と堅實なる記事とを以て滿たされたり。本號重なる畫報は東伏見宮兩殿下の御外出、若き妻の一日、數名家の令孃、和洋應接間、赤十字總會、東洋婦人會のバザー招待、植物園に於る婦人衞生會、廣瀬中佐銅像と杉野兵曹長の遺兒、團扇の製法發狩其他十數あり。讀物には高田博士の結婚に對する若き婦人の態度と主婦の責任、高木男爵の祖先の祭と家庭の婦人、中川謙二郎氏の高等教育を受けし婦人と平凡な家庭、嚴谷小波氏の流行を追ふ婦人の趣味を初め、小泉又一、三輪田眞佐子、谷紀三郎、岸邊福雄、加納子爵夫人、櫻井ちか子、江木夫人諸氏の有益なる記事あり。附錄には磯野氏の後園、輝方氏の七夕いづれも極彩色の石版畫を添えあり、眞に趣味と實益とに富みたる、家庭向の好雜誌なり。(定價廿五錢郵税二錢東京麴町區飯田町四ノ四東京社發行)

▲銀座龜屋のアイスクリム製造品 は婦女子又は子供にても容易に製造せらるゝ簡便なる器械なるにより時節柄諸方面より注文者多く龜屋主人はホク〳〵喜び居る由。

▲地球印凱旋サイダー 日本製氷株式會社の新榮町工場は從來宮内省大膳寮の御用命を蒙り十數年間上納しつゝある由なるが特にシャンペンサイダー並にオレンヂ其他の製品は原料を最も精選せられ他の一般飲料水の及ばざる香氣と甘味とあり衞生上夏季の一好飲料、中元御進物の最好適品なるべしとなり

◎愛國婦人會員に限り定價より特に五分割引可仕候

實用新案 裁縫用具

一◎子持ひのし 壹號品金一圓八十五錢 貳號品金一圓三十五錢

是迄のひのしに風通を付て火が消えぬ樣に考案したもので外面を美麗な美術的趣向をなし至つて優美で奥さん御孃さん向きです

一ひのし臺袋付 壹號品金四十五錢 貳號品金二十五錢

一安全ひのし臺 壹號品金三十錢 貳號品金十二錢

此の臺は金屬製で空氣作用により勢力を防ぐ樣になつて居りますから御召の上に置くもこげると云ふ心配はすこしもありません

一子持こて 金五十錢

此のこては是迄の如く灰炭の付着する心配がありません

專賣特許 一自生瓦斯アイロン 金三圓五十錢

專賣特許 一ケイフ 甲一枚金十錢 乙一枚金六錢 一名つやぶきん

◎市内は「はがき」電話にて御報相成候へば直に御伺可致候

東京市日本橋區吳服町二十五番地

特許新案五條下駄一手販賣元 實用新案子持火熨斗一手販賣元 其他各種特許品案品販賣

サクラ商會

電話本局長二五七六番

四季の好飲料

●チャリーサイダー

●チャンピンサイダー

●レモンネード水

●ヂンジヤエール

●食麵麭

食パン

帝國大學御用 チャリ合名會社

東京市京橋區南小田原町三丁目九番地

贈答用の好適品

電話新橋一四二三番

毛生液 ピローゲン

多年毛髮の研究に靈粹したる藥學士藤木理氏が在來世に流布する生毛劑の不完全なるを慨し玄幽なる學理により茲の母劑藥を加ふる事なく確實に生毛し得る新方劑を製出したるものなり。今氏が確乎たる信念を以て保證せられたる一文を掲ぐ

生毛劑の目的は普通毛を生すべき身體の部分に何等かの原因の爲め生毛せざる際に之が發生の機を促がすにあり古來此目的の爲に種々の方劑考案せられたれども遺憾ながら一も信憑すべきもの有るなし是に於て余は現實生毛に効驗ありて人身に害なき方劑を得ん事を焦慮し漸くにして自ら完全無缺と信ずるに足る所の一合劑を造るを得、試に之を拾數人に施すに豫期の如く早きは一ケ月遅くも一ケ月半を出ずして全く生毛の實を徵し得たり。

本劑は生毛的成分を有する藥品と養毛的效力ある藥品とを配し且毒劇藥を毫も配合する事なければ皮膚に些少の損害を與ふる無きは余の確信して疑はざる所なり。

四十三年三月 藥學士 藤木 理

以上は實に發明者が自家の名譽を賭して使用者に誓ふ所、責任の所在を明晰にしたる知る可きなり

ピローゲン効能

本劑は上記の如く主として身體中毛を生ずべき部分に毛の無き者に塗抹して直に効驗を顯はす譬へば鬚髯腋毛、陰毛等の無き者、頭髮其他の生え際の薄き者鬼舐病及び惡疾より生ずる毛髮の禿脫、火傷刀傷、發疱の痕等苟くも毛の生ずべき所ならば必ず生毛せざる事なし、又本劑は薄き毛を濃密ならしめ併せし毛髮の脫落を防ぐを以て産後其他疾病等の爲め毛の脫ける部分に塗布して現實に効果あり

(定價一壜壹圓六十錢)

東京市神田區旅籠町二丁目

發賣本舖 資芳堂 電話下谷三一〇 振替東京一九八七五

市内代理店

日本橋區橋本町 福井商會

下谷區徒士町 中島百之助

神田區鍋町 大木合名會社

神田區花房町 山崎帝國堂

日本橋通二丁目 中田支店

日本橋區瀬戸物町 玉置合名會社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側

御影堂　持阿彌

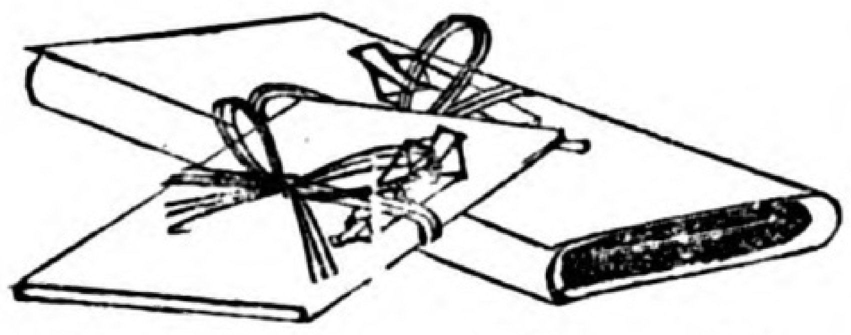
東都流行品の山！

○呉服太物＝今夏の流行品は店内に充溢！

○洋服地類＝歐米直輸入最新流行柄の粋！

○和洋雜貨＝洋傘帽子小間物外雜貨一式！

○商品切手＝体裁優美中元進物用に好適！



中元贈答品の海！

東京日本橋

白木屋呉服店

夏季講習

八月一日ヨリ二週間

和服、洋服、裁縫、刺繍、造花、摘み、袋物、編物、組糸等其他國語及教育

文部大臣認定　私立

和洋裁縫女學校

東京市麹町區飯田町九段中坂上電話番町千九百七番（通稱堀越女學校）

麝香獸印

ムスク香水

大瓶壹圓　中瓶六十五錢　小瓶二十五錢

芳香の永く保つ點にて高評也

（注意）近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び一頭の麝香獸に御注意を乞ふ市内賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

東京日本橋本石町四　松澤常吉

生殖器病科

診察朝八時より夜九時まで

●皮膚病●ほ黒

梅どく　りん病　ぢ疾　わきが　神經衰弱症

東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横

中央醫院

生殖器病專門中央醫院處方

梅毒　横根　下疳

りん病・ぢ疾　皮膚病

わきが

生殖器病　神經衰弱　記憶力減衰　陰萎夢精遺精早漏陰莖發育不充分

●病狀を記し郵券六錢送れば其病を速治する特効新藥説明書送る

東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横

中央藥院

●色白く艶をだす（大形廿錢　小形十錢　新小角十錢）

松澤ホーサン石鹸

●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣藥小間物化粧品店にあり

東京日本石町四　松澤常吉

◉院長ドクトル木村順吉

京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）

婦人科產科木村病院

產科婦人科專門

診察毎日午前　入院隨時

淺草區左衞門河岸　電話下谷一〇二八

岩田病院

●宮内省醫員を辭して一般の治療に應ず　安島廣三郎

腦神經衰弱、リウマチス、脚氣、神經痛、胃腸病、婦人病、耳鳴、

●從來の鍼術と異なり少しも痛なし

日本橋區元柳町八【電車淺草橋下車】

朝七時より二時迄

安島鍼術治療所

腦神經精神病科

東京龜戸町電話浪花二五五二

加命堂腦病院

福田病院

京橋釆女町歌舞伎座前横通　電話新橋（三二四二・四八八一）

院長　醫學士　福田謙之

次長　醫學士　加藤良逸

小兒病一般

並　小兒皮膚科　小兒耳科

隔離室の設備あり

◎產科婦人科

芝明船町十九虎門外　電話新橋三三二四番

櫻井克巳

岩佐病院

日本橋區蠣殻町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）

診察時間　自午前九時至正十二時

内科婦人科　院主　岩佐純

内科　院長　ドクトル　岩佐新

外科　醫學士　山村正雄

產科婦人科　醫學士　佐久間兼信

腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

產科婦人科小兒科　女醫　鷲山彌生

診察時間　院長　毎日午前八時より　醫員　毎日午後三時より

内科部長　醫學士武智基造

診察時間　火木土午後壹時より

病室及產室の設けあり入院隨時

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地　電話番町二二五七

東京至誠病院

醫學博士　榊順次郎　毎日午前診察

醫學士　久保徳太郎　日曜水曜午後　婦人科的外科

醫學士　田代謹二　火木土曜日午後　泌尿器病及内科

●施療火木土午後自一時至二時

●施療妊婦產婦ヲ取扱フ

麹町區三番町三三（電話番町三九五）

婦人科產科　榊病院

小兒病診療

往診午後　宅診午前

淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）

醫學士　内田愼太郎（電話下谷七一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏 [illegible]

東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花 千二百七十番

IVORY SOAP
アイボリー石鹸
Procter & Gamble, Cincinnati

日本輸入品に限り包裝紙に斜に『アイボリー石鹸』と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ
御購求の節『アイボリー石鹸』に御注意を乞ふ

皆様(みなさま)
今日(けふ)もまた
丈夫(ぢやうぶ)で元氣(げんき)で心から愉快(ゆくわい)に
「暮(くら)す様(やう)」
「ゼム」を今(いま)すぐ召上(めしあが)れ

消化と毒けし
ゼム
懐中良薬
口中香錠

▼全國各藥店にあり

綠蔭水邊必ずこの雑誌を離るゝ可らず

女學世界

七月一日發行 第九號
正價廿錢 郵税二錢 ●金十錢 郵税共 前金 一圓 六十三 冊 二錢 十 錢

◎一から十まで様子の違ふ米國の風俗　ドクトル 川瀬文子
◎雜記帳　與謝野晶子
◎活きた人格の感化　田添幸枝
◎感夏の趣味　物集梧水
◎座額八千萬圓の女工場主　一記者
◎船の新婚旅行　高北貞子
◎今様枕の草紙　清子

■警視廳の注意人物となつて居る惡女學生　警視廳記者
■多數の子供を教育して得た母親の實驗　金森通倫氏夫人

◎呉服屋の手代に附廻された娘の衣裳　神中糸子
◎涼しき室内裝飾　微笑庵主
◎塵世觀と宇宙觀　河岡潮風
◎ハーモニカ　內藤千代子
◎小供洋服の仕立方　女子共立會
◎夏向の總菜料理　桑原東浪
◎お盆の精進料理　山家殿女

東京市日本橋區本町 博文館 振替口座二四〇番

シカゴみやげ 象印はみがき
安藤井筒堂

登録商標
元祖ねびへしらず(小兒用)

僞物あり御買ひ求めの節目印登録商標に御注意願上候

直段
表中形裏ネル
一才用二十錢
二才用廿三錢
三四才用廿六錢
五六才用廿九錢
七八才用卅三錢
表メリンス裏同上
一才用三十七錢
二才用四十一錢
三四才用四十六錢
五六才用五十三錢
より四十二錢各種迄

地方は代金引替小包送料五個迄十七錢五個以上は送費當店持海外は實費頂戴可仕候
製造卸小賣 東京日本橋區ふきや町 (電浪二三四八) 佃屋商店

登録商標
本品は佛國モンネット會社特製の新香料と白ばら「スミレ」の芳香を永く保つ
星美人香水(ほしびじんかうすい)
定價 大瓶壹圓 中瓶五十錢 懐中用五錢廿
東京瀬戸物町 中岡太洋堂

帝國貯蓄銀行 銀座一丁目河岸通(電話新橋 八六六 二〇八)
飯倉支店 飯倉三丁目
赤坂支店 赤坂表一丁目
四谷支店 四谷大通り
本郷支店 本郷一丁目角
神樂坂支店 牛込神樂坂上
吾妻橋支店 淺草雷門前
須田町支店 神田須田町
米澤町支店 兩國米澤町
品川支店 南品川一丁目
横濱支店 横濱吉田町
代理店 日本橋坂本町田中銀行
●一錢以上何程にても御預り最も便利に取扱ふ●毎月五日迄の御預金には全月分の利子を付すべし

中元大賣出し
七月一日より
特見切均一賣出し
伊勢崎銘仙紺かすり 三圓九十五錢
木綿かすり(紺)(白) 一圓五十五錢
本品に限り景品券呈不申候
景品くじ引券 但買上高五圓毎に一枚呈上

日本橋區通旅籠町(電車、小傳馬町御下車)
大丸呉服店
電話浪花(八三三)(六六三)
●郵便注文 地方係 商品目錄書送呈仕候
●外賣係 市内迅速に御用命承り可申候

目下東髪界に持て囃されつゝ有る割れたる珍奇の貝類を巧妙に取合せ調製したる
二枚櫛 並に中差簪等種々取揃申置候

世界流行の中心たる佛國巴里の交際場裡に於て目下最も流行しつゝある季節向の東髪用
タボ櫛
三枚櫛
リボン
ブローチ
等種々新着仕候間御光來の程奉希上候

東京市神田須田町(電話本局二〇七六番 振替口座二八一一番)
甲鼈小間物商 三井屋徳次郎
倘御持古しの小間物交換仕べく候
京橋區新橋際 博品館内支店
神田裏神保町 東明館内支店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●頭髪の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ方よ

毛髪洗滌液ペトロール、ハーン

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髪を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を增し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり（各地有名なる化粧品店にあり）

代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓

横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

東京市日本橋區通一丁目

合名會社森村銀行

電話（特）本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月年四分五厘

當座預金　百圓に付日歩五厘

特別當座預金　同日歩九厘

妾事頭毛にて種々藥を試しも効なく醫博士介夫人より寄藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し盡さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の證狀を受け不思議のまゝ尙困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……

東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

避暑旅行ノ御準備ハ？

旅行用具ハ**三越**ニテ**御求**メ**遊**バサル、ガ**最**モ**得策**ナリ

旅行用衣服ハ**勿論**ノ「**帽子**カラ**靴鞄**マデ**悉**ク**備**ハレリ

山ノ景色、海ノ眺メハ日ニ〳〵優レリ。或ハ溫泉或ハ海水浴ニ暑サヲ避ケラル、御方ノ日ニ〳〵多ケキ今日此頃、御旅行ノ御準備ハ如何ニ？

三越ハ**でぱーとめんとすとーあ**ナレバ、平常着、訪問服、又ハ洋服ハ申ニ及バズ、時計、指輪、化粧箱ヨリ、空氣枕、膝掛、**すてつき**、洋傘ナド、所謂頭ノ先カラ足ノ先マデ御用ノ品々何呉トナク陳列販賣仕候間、是非共御用命下サレ度奉願上候。

東京駿河町　（越）**三越呉服店**

振替貯金口座（東京三〇〇番）

文學博士芳賀矢一先生序　武谷等先生著

女學生寶鑑

美麗洋裝菊版三〇八頁　総入總假名附　定價壹圓　郵税八錢

容姿を正しうせんと欲する人に鏡を要するが如く、向上的精神を養ひて文明の淑女たらんと欲する方には本書を要す。本書には、哲理を述べ、倫理を說き、且、古來の敎訓的和歌、俚言、論語、大學、中庸、等の格言を分類收錄せり。實に令孃淑女、机上の寶鑑たり。

發行所　東京市神田區小川町十三番地　**大野書店**

●東洋一**製造大販賣**　卸し小賣

かや夜具夏ざぶとん

●街鐵・外濠・小川町東明館前に下車を乞ふ

諸官省御用　（や）　神田表神保町二　**矢田本店**　電話本局二〇一八番

市內無賃配達

●階上**縱覽御隨意**　珍柄高等品澤山有り

●綿質保險附●確實大勉強●正札引なし

タカヂアスターゼ

●**不消化の徵候**　醫學博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徵候は胃の膨滿、疼痛、溜飲、腸內瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と

●**高峰博士發見**の製法に從ふタカヂアスターゼは**毎瓶强度一定効力不變**なり

是れ普通製法の幾多摸造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舖にて取次販賣す

●**醫學大家の報告**を收載せる『タカヂアスターゼ說明書』あり發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

婦人画報

◉七月一日發行　七月卷　定價廿五錢　郵税二錢　六冊共一圓五十錢　十二冊二圓八十錢◉

讀物

嫁入前と後……高田博士

婦人と于蘭盆……高木男爵

平凡な家庭と婦人……中川校長

老若の交際……三輪田眞佐子

高女校と實科女校……小泉又一

畫報

後園の七夕　磯部吉雄筆　池田輝方筆

故英國皇帝陛下大葬遙拜式

若き妻の一日　午前　午後

廣瀨中佐銅像と杉野氏遺兒

東伏見宮兩殿下の御外出

赤十字總會と婦人會員……

花の如き六名家令孃

御下賜品と玉枝女史の家鑿

假裝の夏の日比谷

東洋婦人會のバロダ王招待

讀物

流行と婦人……巖谷小波

美しき友情……三谷紀郎

酒飲の夫と妻……岸邊福雄

夏の來客接待……櫻井ちか

召使の新婚旅行……加納子爵夫人

▼朽網德子……遠山稻子

▼夏衣と化粧……江木夫人

▼婦人一年の配者……山崎千代

▼現代貴婦人の應接振

▼七夕と盆……戸川殘花

▼小說　菖蒲園……尾島菊子

▼飮食用具……西村學士

◉螢狩と海

◉女學生の接待ぶり

◉婦人衞生會總會

◉鍋島氏加納子家庭

◉貯金事務競技會

◉高崎男の和洋

◉應接間

◉弟橘媛の碑と和歌

◉婦人藥劑生の實驗

◉珍らしき扇の色々

◉婦人正風會と蠶業

◉經木眞田瀧川學園

◉團扇製法

▼白痴敎育の瀧の川園

▼七月の料理と漬物

▼夏の髪飾は如何な物

▼團扇は如何に製すか

▼美しき眼醜き眼……高橋學士

▼和歌入門……佐々木信綱

▼東京名物食物色々……

麴町區飯田町四ノ四　**東京社**　電話番町二一三八　振替三一九八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報堂
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
日本橋區蠣殻町三ノ一一 大興社
京橋區南紺屋町一一 一星社
神戸市元居留地仲町三八東洋廣告取次會社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社

●中元御進物用に最も宜し

風味ありのみ
越後名産

定價
並等品一個金五錢
上等品同金八錢
優等品同金十二錢
特等品同金十五錢（外數種あり）
箱詰入金一圓二十錢以上
御進物用金二圓二十錢迄

●市内は一圓以上御需めの方へは御一報次第直ちに配達可致候

東京市牛込區山吹町十番地
越後名産梨果專門
卸小賣 二葉商店
（江戸川電車終點矢來交番の中央）

古今無比の純良品宮内省御買上の光榮を得たる

みやけ油

東京人形町通 三宅堂本舗
長電浪花六二〇番
振替口座東京八七五番

衛生に注意の男女方は彼れ是れ迷はずにみやけ油を御用ひなさい模造品四方にあれば長髮美人商標と東京人形町みやけ油本舗製に御注意信用ある店に販賣す

すいなゆかた
東京人形町通り
赤のれん
おむなや本店
電浪四三四五

ハチ印

中元御贈答品

シャンピンサイダー

製造元
東京市芝區金杉壹丁目
澁谷守藏

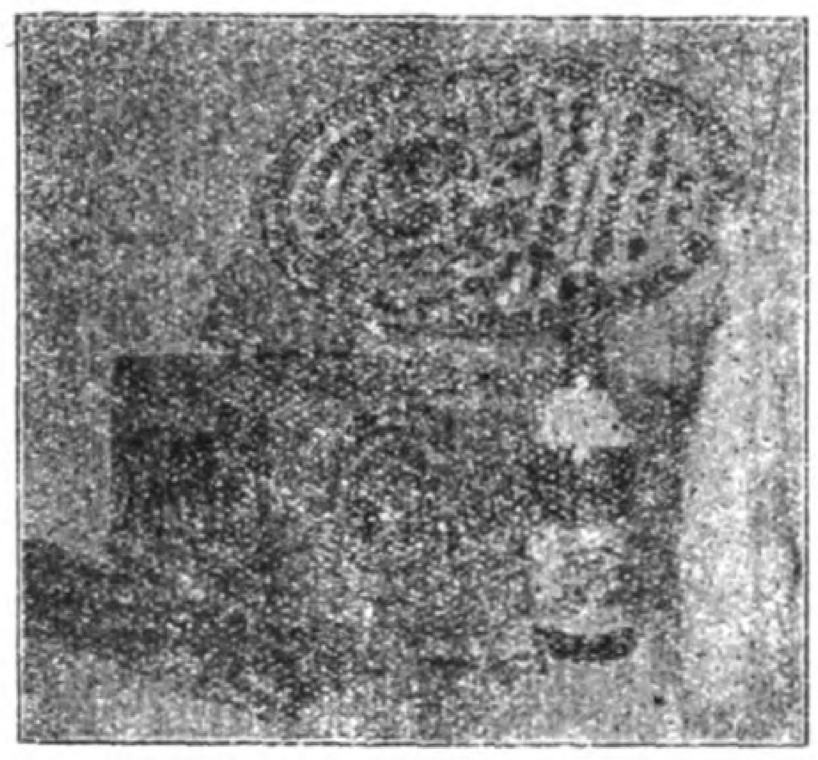
宮内省御用達

地球印

四季之好飲料として
貴婦人界に高評嘖々たり

凱旋サイダー
オレンジ

中元之御贈答用品として
嶄新にして最も輕妙なり



日本製氷株式會社
新榮町工場製造
電話特長新橋五九二番

蒔繪美術品
御婚禮道具
料理店用膳梲
金銀木杯製造

きん藤 小林漆器店
東京日本橋通二丁目
電話本局 長五〇六 九八五
振替口座東京壹壹三九

最上醤油

カギダイ

到る所の酒醤油店に販賣す

釀造元
下總銚子港
鶴屋吉兵衛

七月五日ヵ
中元賣出

半ゑりは
神田赤のまんに限る

本店 神田表神保町壹番
電話本局二八五三
出店 新橋博品館階上

にきびを
とる有効化粧液
チプリ
到る所販賣にし升
卅グラム入 二十五錢
東京本石町
松澤常吉

明治四十三年七月五日發行（每月五日、廿日二回）
定價金三錢五厘 一ヶ月金七錢（郵稅不要）
廣告料一行金六拾錢
編輯人 竹内貞三
發行兼印刷人 山澤俊夫
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
印刷所 東京本所區番場町 □□版印刷株式會社分工場

附録 愛國婦人會記事

本部記事

▲評議員會　去月二十二日午后一時半より本部樓上に於て評議員會開催、本部給與規程改正案及支部給與準則改正案に就き評議あり、原案の通り議決、午後四時三十分散會せり。當日出席の人名左の如し。

岡部會長、阿部副會長、濱尾、三輪田兩幹事、仁杉歌子、新山雅樂子、鬮邨子、井上光子、非原增子、松村琴子、岡田とく子、三井五十子、渡邊源子、下岡まつ子、鳩山春子、山脇房子、大久保榮子、龜井眞洲子、有島幸子、佐方鎮子の各評議員、（以上二十一名）

○定期救護金配當　明治四十三年度定期救護金は救護基數七萬七千三百九拾六名に對し一名金壹圓の率を以て金七萬七千三百九拾六圓を北海道支部以下四十八支部に配當送金せり其各支部當りは別表の通りにして昨年に比すれば人員に於て一千八百二名の金額に於て一千八百二圓を增加せり、而して此總人員中遺族人員七萬四千九百二十二名、癈兵二千四百七拾四名なり。

明治四十三年定期救護金配當表

	救護基數	救護金配當額
北海道	八五五人	八五五円
東京	二、九三二	二、九三二
京都	一、四三八	一、四三八
大阪	二、〇六一	二、〇六一
神奈川	一、五九六	一、五九六
兵庫	三、〇六四	三、〇六四
長崎	七八二	七八二
新潟	二、九九一	二、九九一
埼玉	一、四四二	一、四四二
群馬	一、三七一	一、三七一
千葉	七四八	七四八
茨城	八八〇	八八〇
栃木	八八三	八八三
奈良	八四六	八四六
三重	二、二二四	二、二二四
愛知	四、三〇六	四、三〇六
靜岡	二、六〇六	二、六〇六
山梨	二七〇	二七〇
滋賀	一、六三一	一、六三一
岐阜	三、五六七	三、五六七
長野	二、三四九	二、三四九
宮城	一、四二〇	一、四二〇
福島	一、四五四	一、四五四
岩手	一、四二八	一、四二八
青森	一、〇四七	一、〇四七
山形	一、二九四	一、二九四
秋田	一、四四八	一、四四八
福井	一、五〇五	一、五〇五
石川	二、〇四〇	二、〇四〇
富山	二、三六七	二、三六七
鳥取	八五九	八五九
島根	一、三一四	一、三一四
岡山	二、二二一	二、二二一
廣島	二、七六五	二、七六五
山口	一、四八一	一、四八一
和歌山	七七四	七七四
德島	一、七三一	一、七三一
香川	一、七七五	一、七七五
愛媛	二、五九九	二、五九九
高知	一、〇八二	一、〇八二
福岡	二、一九四	二、一九四
大分	九六八	九六八
佐賀	九〇六	九〇六
熊本	一、九〇〇	一、九〇〇
宮崎	一、〇二二	一、〇二二
鹿兒島	六五九	六五九
沖繩	二〇七	二〇七
函館	九四	九四
韓國		
海外		
計	七七、三九六	七七、三九六

長野支部

▲明治四十二年度事務成蹟

▲會務の概況　一月以來會務擴張を謀り女子人口百分の五に達せしめんと欲し各幹事部長を督勵し且つ傍ら年醵金の整理に努めつゝありし際本縣唯一の主產たる生糸の下落に加ふるに米價下落の爲め不尠打擊を被り其他諸種の事情により勸誘に一大困難を來し漸く現狀維持の有樣にあるは當支部の大に遺憾とする處なりとす、然れども四十三年度に於ては授產場を開設し更に大に會務の擴張を圖らんと欲す。

▲遺族癈兵救護　本會よりの支出に係る救護金二千三百四十五圓に支部支出の救護金五百二十七圓を加へ之を遺族癈兵總員千二十五人に配當し丁三百十二人に對し一人金三圓五十錢宛丙七百十三人に對し一人金二圓五十錢宛を贈與せり。

▲遺族癈兵慰問　十月三日松本市に於て長野縣及步兵第五十聯隊主催となり縣下の戰病死者招魂祭を施行し遺族を招待せられたるを以て同地女子師範學校々舍の一部を借受け參拜遺族の休憩所を設け支部職員並に松本市幹事部職員及會員等百名以上出席し茶菓を饗して款待し遺族等をして大に滿足せしめたり當日接待の人員約千二百人なり。

又十一月十日南安曇郡幹事部總會に際しては支部長代理評議員主事事務員參列し遺族癈兵に對し支部長の慰問詞を傳へ且一同へ菓子折を贈與し以て慰藉せり其人員百四十三名なり。

▲軍隊慰問　宇都宮附近に於ける大演習に參加せし高田師團各隊の長野市通過に際し支部職員及會員城山休憩所に出張し湯茶を供し又宿泊の諸隊に對しては支部長副長評議員等右宿營本部を訪問し積日の勞を犒ひたり

▲授產場建築着手　支部授產場を建設せんため縣廳舍新築豫定地の隣地を卜し六百坪の敷地を購入し地均しを爲し一方用材を購入し十月中旬より起工し目下工事中なり四十三年五月中には落成の見込其建築坪數本館及附屬建物共總計百六十三坪餘工費約九千五百圓の豫算なり。

▲有功章其他贈與　本年中贈與されたるもの左の如し。

一等有功章二人　二等有功章六人　三等有功章四十六人

謝狀及木杯三ッ組拜授者　十八人

謝狀及木杯一個拜授者　十二人

謝狀及扇子拜授者　四人

熊本支部

▲明治四十二年度事務成蹟

▲會務の狀況　本會の發展を期する上に於て一層其基礎を鞏固ならしめんがため會員の增募及會費の整理に專ら重きを置き本年六月各郡顧問を集め支部顧問より懇々依囑する所あり而して是等の整理を遂行するに於ては幾分の經費を要するを以て郡幹事部に對しては從來會費醵集高の一割を交付し來りしも本年より之を一割五分に增加し以て稍々整理の端緒を開きつゝありしが圖らずも彼の本部に對する新聞記事は痛く會員の感情を阻害し會務執行上一頓挫を來し多大の打擊を蒙りたるを以て百方之が善後策を講じ本會趣旨の徹底に努めたる結果會員の感情も漸次融和し會員數の如きは前年に比し多少の增加をなしたりと雖も會費に於ては前年に比し稍幾分の減收を見るに至りたるは甚だ遺憾とする所なり今茲に會員數及會費の醵集高を前年に對照すれば會員數は四十一年末特別會員二千九百十五人に對し四十二年度同會員數二千九百十二人（三人減）四十一年末通常會員一萬九千二十四人に對し四十二年末同會員數一萬九千二百五十五人（二百三十一人增）合計二百二十八人の增加にして會費醵集金高は四十一年度醵金高一萬三千九百四圓八十二錢五厘に對し四十二年度醵集金高一萬三千九圓八十五錢差引本年度減額八百九十四圓九十七錢五厘とす。

▲定期救護　本年度定期救護として軍人遺族癈兵に贈與したる金額及人員は

金三千九百十三圓　丙五百九十九人（一人宛七圓）

金二千五百六十二圓　丁百八十三人（一人宛四圓）

合計金六千四百七十五圓

內　金千七百六十六圓　本部交付金

金六千四百七十五圓　支部支出金

▲臨時救護　韓國及臺灣に於て戰死したる軍人遺族に對し四十二年度中に於て臨時救護金を贈與したるもの四名にして其金額合計十二圓を支出せり。

▲軍人遺族接待　五月六日及七日の兩日熊本市山崎新市街に於て第六師團管下の招魂祭執行に付同祭壇右側に一棟の假屋を設け支部長以下幹事會員事務員一同出席し參拜遺族四千餘名に對し茶菓の接待をなしたり。

▲新年初會　當支部に於ては每年一月初旬に於て新年初會を催すを例とし從來繼續開會し來り本年亦一月六日午後零時半より縣會議場に於て開會したるが會する者九百有餘名にして會務の報告來賓の祝辭演說歷史講談等數番あり終て來賓及會員には菓子包及福袋を配付し非常の盛會を極めたり

▲支部例會　支部直轄の幹事會員は每月第三月曜日に例會を催し重要なる會務の報告並に講師を招聘して有益なる講話を請ひ且會務の發展に關し協議をなしたり

▲幹事部總會　飽託郡小山戶島村は五月三日阿蘇郡久木野村長陽村に於ては十一月四日各會員總會を開催、支部よりは支部長、幹事、主事、事務員等出席し孰れも非常の盛會なりき。

韓國委員部

▲釜山委員部總會　愛國婦人會釜山委員部總會を五月二十七日午後一時より釜山港釜山座に於て開く來會々員約四百名中韓人會員六十餘名出席、來賓は石黑男爵、藤田軍醫監、山岡稅關長、鳥山地方裁判所長、吉田檢事正、龜山理事官、西川輸出牛檢疫所長、千葉陸軍運輸支部長、佐分利衛戍分院長、草刈守備隊長、本間憲兵隊長、市川警視、金東萊府尹、石原民長、宇都宮民團立病院長、鶴見醫學士、大原民團議長、野口商業會議所會頭、芥川釜山日報社長、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

高木朝鮮時報社長、入佐軍事協會長、其他理事廳、鐵道院、税關、裁判所、陸軍運輸部の各高等官、民會議員、商業會議所々員、辯護士、各銀行支店長等重なる人士百二十餘名にして一同式場に整列し君ケ代の奏樂、一同敬禮の下に委員部長龜山里子、總裁宮殿下御眞影の覆を撤し龜山顧問の開會の辭あり、次に委員佐藤千代子は左の如き本會長の祝詞を代讀す。

●實委員部第二回總會の開會を祝す

次に藤田軍醫監は本部長事務取扱石塚忍子の祝辭を代讀せられ、尚引續きて軍隊を代表し、委員部會員の釜山衛戍病院及東萊療養所の訪問慰藉等に對して謝辭を述べられる、次に委員部長龜山里子の答辭、事務員囑託田中理事廳屬の事務報告、來賓總代石原民長の祝辭、會員總代千葉松江子の祝詞あり、つゞきて會長代理龜山顧問は左の四氏に對してそれぞれ頭書の有功章を授與せり。

一等有功章 龜山里子
二等有功章 追間津智惠子
同 竹下良子
三等有功章 物部とく子

茲に於て受章者總代追間津智惠子は謝辭を述べ終りて、來賓石黑男爵は特に來會者の爲め最も有益なる演說あり、(本文所載)尚韓國會員の爲め高雄統監府通譯官は其の大要を通譯し演說終りて東萊府草果婦人會長金女史、同副會長徐女史は進みて石黑男爵に謝辭を呈し、龜山理事官の發聲にて一同萬歲を三呼して閉會を了りて種々の餘興を開始し午後五時半散會せり。因に當日は來會者一同に對し記念品として袱紗を贈りたり、尚理事廳員諸氏が當日特に斡旋盡力せられたるは當委員部の感謝する處なりとす。

奈良支部

▲生駒郡幹事部會務一般及總會

●會務一般 當幹事部は明治三十四年九月の創設に係り當時會員數總數僅に六十四名なりしが爾來年と共に其數を增加し明治四十年末に至り七百三十一人に達せしも會費の滯納は實に一千三百餘圓の巨額なりしかば部長の囑託を受くるに及び銳意其整理に力を盡し現住女子人口三十五人に對し會員一人を得んとの方針を定め當幹事部顧問をして大に事務の督勵を煩はし又幹事町村委員部職員等と力を協せて日夜各所に本會の趣旨及現況を說きたる結果漸次會員數を增し且會費整理も大に進陟し今や特別會員二十一名通常會員九百廿九人贊助會員六名合計九百六十七名に達し現住人口三十六人三分餘に對し會員一名の比を示し會費も亦部內十九委員部中數委員部を除くの外未納者なきに至れり。

▲第一回會員總會 會費整理會務擴張等稍豫定の如く進行せしを以て赤十字奈良支部生駒委員部第一回社員總會を兼ね愛國婦人會奈良支部生駒幹事部第一回會員總會を開き癈兵及戰病死者遺族を優遇し之が慰藉を行ふこと、し去る六月五日縣立郡山中學校內に於て開催したり。當日は生憎の雨天なるに拘らず來會者七百餘名の多數に達し、支部長代理丸山靜代子支部副長小原ぬい子小原內務部長北畠男爵遠藤五十三聯隊長赤羽軍醫正等の臨場あり、令旨捧讀の後式辭、事務報告、支部長告辭、赤羽衛戍病院長の演說、小原內務部長及北畠男爵の平城宮趾に關する講話及演說あり、尚又此日郡山中學校西北方に當り步兵第五十三聯隊第一大隊長混成一ケ中隊の擔架演習あり式終る頃より假裝負傷者を續々校內に設備せる兵站病院に擔ひ込み難波一等軍醫の率ゐる衛生隊及日本赤十字社奈良支部救護班に於て之が治療を行ひ赤羽軍醫正は一般來會者に一々說明の勞を執られたり、此は總會開催に就て一般來會者に戰時に於ける救護班活動の狀況を知らしめん爲め豫め聯隊と交涉し置きたるによる。

式後來會者に折詰の饗應をなし尚郡山町商人の寄附に係はる模擬店、郡山町の寄附に係る餘興等の企ありたるも雨天の爲め中止を餘儀なくされたるは遺憾とする處なりとす、されど午後五時一同滿足の間に無事式を終るを得たるは幸甚とす。

福島支部

▲若松市幹事部總會 若松聯隊將校集會場內に於て若松市幹事部第二回會員總會を開きたるが當日朝來風雨烈しかりしに拘らず來會者三百餘名に及び席定まるや幹事部長代理として顧問松本時正氏開會の辭を述べ、君島事務員會計の報告をなし、夫れより支部長代理評議員內池サキ子の挨拶及白虎隊に付ての感想を述べ、次で來賓會津中學校長淺岡氏の故奥村五百子刀自の言行に對する所感、步兵中佐武富氏の女子の志操に對する有益なる演說等ありて式を畢れり、午后は一同へ午餐を饗し、軍人遺族癈兵には支部より贈與せし別に菓子折を頒ち、餘興として箏曲、落語、義太夫等あり後一同記念の撮影を爲し午后四時散會せり。

兵庫支部

▲奇特行爲行賞 兵庫縣飾磨郡家島村の內眞浦、通常會員寺村きく子の奇特行爲に關し行賞方左記の通り當該幹事部長より內申ありたるに付き五月廿四日支部長名義を以て總裁宮妃殿下の御染筆一葉並に本會徽章形襟留一個を贈與し其篤志を表彰したり。

行賞の義に付き內申

飾磨郡家島村の內眞浦平民
寺村きく子
安政六年二月生

右の者寡婦にして癈疾の身なるに村税免除を受くる如き貧困なるにより村民の用辨を爲し其の賃金を得て辛く糊口を凌ぎ居りしか明治三十七年日露戰役當時に於て愛國婦人會の趣旨を耳にするや婦人の身を以て國家に報ずるに由なし今や此會に入り萬分の一に酬ひんとて明治三十七年十月率先して入會を申込み爾來零碎の勞金を割き會費に納め未だ一回だも會費の督促を受けしことなく納入し來れり然るに相當資產を有する會員は戰役の際のみ入會するもの丶如く誤解し平和克復に及び家島村に於ては頻りに退會を申込むものあり、さるにきくは頑として退會せず終身會員たらんことを誓ふにより他の退會せんとするものもきくの篤志に感じ遂に退會を絕望するに至り却て會費の如きも同村內一名の未納者なきに至れるは全くきくの善行に誘掖せられたるものに外ならずきくは常に弊衣を着け辛らき糊口の資を殘し其國學に盡さんとするの精神は誠に會員の模範と爲すに足るべきものと認められ候條相當の御賞與相成候樣致度此段由申候也

月 日

愛國婦人會兵庫支部
飾磨幹事部長 小林秀子

兵庫支部長宛

富山支部

▲活動寫眞器を購入し遺族癈兵の慰藉會を開く

軍人遺族並に癈兵者の慰藉に供し傍ら會旨の普及を圖らんが爲め去る四月活動寫眞器を購入し爾後各地に慰藉會開催の都合なるが去る五月二十八日より三日間高岡市板橋座に於て開催せしに每回入場者左記の如く非常の多數にて甚だ好評を博したり。

二十八日午後七時 遺族癈兵並會員約九百名入場
二十九日午後一時 尋常小學校生徒約一千名
同午後七時 中學、工藝、高女、商業、高等小學生徒等一千二百名入場
三十日午後七時 本會の爲め直接間接に援助せる篤志者約六百名入場

鳥取支部

▲遺族癈兵接待

去る五月十五日鳥取招魂祭に際し當支部役員は例年の通り支部長始め鳥取市幹事に至るまで二十餘名參拜し次で一同遺族及癈兵の參拜者約六百名に對し篤志看護婦人會鳥取支會と共同して供進に係る供物を各自に贈與し同時に一方に於ては豫て設備したる喫茶所に於て茶を汲みて遺族癈兵の優待に勉めたり。

北海道支部

▲千島國紗那委員部總會

千島國紗那郡紗那委員部第一回總會は去る二月十三日午前十一時紗那小學校內に於て開催せられたるが參會々員四十八名者定刻前に出席、先づ開會の辭、君ケ代の奏樂に次ぎ支部長の祝辭(代讀)幹事部長の祝辭、會員總代倉澤ツヤ子の答辭、紗那委員佐藤藤太郎氏の演說等あり、閉會後茶菓赤飯を饗し、餘興として會員及紗那小學校同窓會女子部寄附のヴァイオリン琴笛三弦等の合奏ありて午後五時散會せり。

愛國婦人會神奈川支部 職員名簿 (承前)

▲橘樹郡幹事部

幹事部長 三浦諦津子
幹事 箕輪かく子
同 深瀬ます子
同 伊藤うめ子
同 井田嘉代子
同 磯ヶ谷とく子
同 根本さわ子
同 內田すが子
同 德植いま子
同 出川よれ子
同 上原しつ子
委員 箕輪淺右衛門
同 深瀬啓十郎
同 伊藤喜三郎
同 井田文三
同 磯ヶ谷庄藏
同 根本助右衛門
同 內田佐五右衛門
同 德植竹之丞
同 出川太一郎
同 上原量平
事務員 小島晉潤

顧問 三浦助一郎
同 鈴木ひさ子
同 中村たよ子
同 金子すゞ子
同 持丸よし子
同 磯部こう子
同 都倉とめ子
同 榎本うた子
同 熊澤はん子
同 川邊むめ子
同 小林よし子
同 鈴木榮輔
同 中村四郎右衛門
同 金子泰吉
同 持丸兵輔
同 都倉義和
同 磯部幸四郎
同 榎本勇次郎
同 熊澤辰次郎
同 川邊長彌
同 小林三右衛門
同 久米有丸

▲都筑郡幹事部

幹事部長 河瀬はま子
幹事 本田その子
同 小山ます子
同 靑木ふさ子
同 杉山ふき子
同 黑瀬やす子
同 齋藤あい子
同 栗原眞叔
同 靑木淸左衛門
同 杉山吉五郎
同 黑瀬時藏
同 齋藤市藏
同 鵜・正男

顧問 河瀬常次郎
同 栗原うた子
同 新川ふゆ子
同 梶かつ子
同 小島かよ子
同 相原はま子
委員 本田淸助
同 新川力藏
同 梶與平
同 小島良雄
同 相原善太郎
事務員 栗原傳藏

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN